

Salesforce の制限

ユーザガイド, Winter '16



本書の英語版と翻訳版で相違がある場合は英語版を優先するものとします。

© Copyright 2000–2015 salesforce.com, inc. All rights reserved. Salesforce およびその他の名称や商標は、salesforce.com, inc. の登録商標です。本ドキュメントに記載されたその他の商標は、各社に所有権があります。

目次

Salesforce の制限	1
Salesforce の制限の概要	1
一般的な Salesforce の制限	1
管理およびサポートの制限	19
コラボレーションの制限	53
コミュニティの制限	59
機能の制限	63
モバイルアプリケーションの制限	78
プラットフォームの制限	98

Salesforce の制限

Salesforce の制限の概要

『Salesforce の制限』は、Salesforce 機能および製品に関連するさまざまな制限を取り上げているリファレンスガイドです。ただし、『Salesforce の制限』はすべての制限を網羅しているわけではなく、組織に適用しない制限もあります。

記載された制限は、すべての状況で指定されたリソースが規定の制限まで使用できることを保証するものではありません。たとえば、負荷、パフォーマンス、その他のシステムの問題に依存する制限もあります。また、『Salesforce の制限』には、次の制限は含まれていません。

- Salesforce アプリケーションのユーザインターフェース要素
- Salesforce オブジェクトの項目の長さ
- デスクトップインテグレーションクライアント

すべての制限は、今後予告なく変更される可能性があります。詳細は、Salesforce にお問い合わせください。

関連トピック:

[一般的な Salesforce の制限](#)

[管理およびサポートの制限](#)

[機能の制限](#)

[コラボレーションの制限](#)

[コミュニティの制限](#)

[モバイルアプリケーションの制限](#)

[プラットフォームの制限](#)

一般的な Salesforce の制限

このセクションの内容:

[Salesforce の機能とエディションの制限](#)

エディション別の Salesforce 機能の制限です。

[Expansion Pack \(拡張パック\) および Unlimited Apps Pack \(無制限アプリケーションパック\) を使用したアプリケーション制限の緩和](#)

組織は、Expansion Pack (拡張パック) または Unlimited Apps Pack (無制限アプリケーションパック) を使用して組織のアプリケーション関連の制限をより高く設定できます。

[アクセシビリティの制限](#)

アクセシビリティの全般的な制限、およびキーボードとスクリーンリーダーの制限について説明します。

Salesforce レポートおよびダッシュボードの制限

レポート、スナップショット、ダッシュボード、条件検索、埋め込まれたレポートグラフ、およびリストビューの制限です。

インライン編集の制限

インライン編集が許可されていない機能と項目について説明します。

検索の制限

ファイル拡張子、ファイルサイズ、選択リストの検索の制限です。

標準オブジェクトの制限

標準オブジェクトの制限には、追加したカスタム項目やオブジェクトに適用した共有ルールなど、オブジェクトのカスタマイズの使用状況に関する詳細が含まれます。

Salesforce の機能とエディションの制限

エディション別の Salesforce 機能の制限です。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
アクションプラン:ToDo の最大数	なし	なし	なし	なし	75	75	75
有効なルックアップ検索条件	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大5項目。
有効な入力規則	なし	オブジェクトにつき最大20項目。	オブジェクトにつき最大20項目。	オブジェクトにつき最大20項目。	オブジェクトにつき最大100項目。	オブジェクトにつき最大500項目。	オブジェクトにつき最大100項目。
添付ファイル:[メモと添付ファイル]関連リストの添付ファイルの最大サイズ ¹	なし	添付ファイル:25 MB。 フィールドの添付ファイル:2 GB。	添付ファイル:25 MB。 フィールドの添付ファイル:2 GB。	添付ファイル:25 MB。 フィールドの添付ファイル:2 GB。	添付ファイル:25 MB。 フィールドの添付ファイル:2 GB。	添付ファイル:25 MB。 フィールドの添付ファイル:2 GB。	添付ファイル:25 MB。 フィールドの添付ファイル:2 GB。
カテゴリ:カテゴリおよび階層レベルのデフォルトの最大数	なし	なし	なし	なし	データカテゴリグループの100 カテゴリ	データカテゴリグループの100 カテゴリ	データカテゴリグループの100 カテゴリ

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
					リとデータカテゴリグループの階層の5レベル	リとデータカテゴリグループの階層の5レベル	リとデータカテゴリグループの階層の5レベル
カテゴリグループ:カテゴリグループのデフォルトの最大数	なし	なし	なし	なし	カテゴリグループ5つおよびアクティブなカテゴリグループ3つ	カテゴリグループ5つおよびアクティブなカテゴリグループ3つ	カテゴリグループ5つおよびアクティブなカテゴリグループ3つ
証明書: 最大証明書数	なし	なし	なし	なし	50	50	50
コンテンツ配信: 直近24時間あたりのデフォルトの配信帯域幅	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB
コンテンツ配信: 直近24時間あたりのデフォルトの配信参照カウント	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
コンテンツ配信: オンライン参照の最大ファイルサイズ	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB
コンテンツ: 最大ファイルサイズ	すべてのエディション: <ul style="list-style-type: none"> • 2 GB • Chatter REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) • REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) • SOAP API によるアップロード時: 38 MB • Google ドキュメント: 10 MB • Visualforce によるアップロード時: 10 MB 						
コンテンツ: 最大ライブラリ数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
コンテンツ: 最大コンテンツドキュメント数	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
コンテンツ:24時間あたりのコンテンツドキュメントおよびバージョンの最大数 (調整可能)	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	2,500
コンテンツパック:最大ファイル数	なし	50	50	50	50	50	50
カスタムアプリケーション	なし	1	1	5	10	制限なし	10
(AppExchange で公開して投稿されている管理パッケージに含まれるカスタムアプリケーションが Salesforce エディションの制限数にカウントされることはありません。)							
カスタム項目 (その他の制限が、活動項目、ロングテキストエリア項目、リレーション項目、積み上げ集計項目に適用されません。)	オブジェクトにつき最大5項目。	オブジェクトにつき最大25項目。	オブジェクトにつき最大100項目。	オブジェクトにつき最大100項目。	オブジェクトにつき最大500項目。	オブジェクトにつき最大800項目。	オブジェクトにつき最大500項目。
カスタム表示ラベル	なし	なし	なし	5,000	5,000	5,000	5,000
カスタムリンク:リンクラベルの最大長	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字	1,024 文字
カスタムリンク:リンク URL の最大長	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²	3,000 バイト ²
カスタムオブジェクト	なし	5	50	50	200	2,000	400

AppExchange で公開して投稿されている管理パッケージに含まれるカスタムオブジェクトが Salesforce エディションの制限数にカウントされることはありません。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
論理削除したカスタムオブジェクトとそのデータは、制限の対象に含まれません。不要なカスタムオブジェクトは物理削除または消去することをお勧めします。							
カスタムオブジェクト: なし 主従関係の最大数		2 ³	2 ³	2 ³	2 ³	2 ³	2 ³
カスタムオブジェクト: なし 多対多のリレーション での親レコードの削除		多対多のリレーションにおいて、関連する連結オブジェクトのレコードが200を超えていて、かつ、他方の親オブジェクトで連結オブジェクトを対象とする積み上げ集計項目が作成されている場合は、親レコードを削除できません。					
カスタム権限	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	1,000
カスタムプロファイル: ユーザライセンスの種 類あたりのカスタムプ ロファイルの最大数	なし	なし	なし	なし	1,500	1,500	1,500
カスタム設定: キャッ シュデータの制限	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量	なし	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量	なし	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量	10 MB か、 1 MB×組織 のフル ユーザラ イセンス 数のいず れか少な い容量
カスタム設定: カスタム 設定あたりの項目の最 大数	5	なし	100	なし	300	300	300
ディビジョン: 最大ディ ビジョン数	なし	なし	なし	100	100	100	なし
ドキュメント: カスタム アプリケーションロゴ の最大サイズ	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB
ドキュメント: アップ ロードするドキュメン トの最大サイズ	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
ドキュメント:ファイル名の最大長(ファイル拡張子名を含む)	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字
エンタイトルメントプロセスとマイルストーン	なし	なし	なし	なし	Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition の場合、制限は次のとおりです。	<ul style="list-style-type: none"> 20 件のエンタイトルメントプロセス エンタイトルメントプロセスあたり 10 件のマイルストーン エンタイトルメントプロセスおよびマイルストンの数の増加についての詳細は、Salesforce にお問い合わせください。	
外部オブジェクト ⁴	なし	なし	なし	なし	100	100	100
項目履歴管理:標準またはカスタムオブジェクトで追跡する標準またはカスタム項目の最大数	なし	20	20	20	20	20	20
ファイル:Chatter および [ファイル] タブの最大ファイルサイズ	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB
会計年度:カスタム会計年度の最大数	250	250	250	250	250	250	250
Lightning ページ:単一範囲内のコンポーネントの最大数	25	25	25	25	25	25	25
数式:最大文字数	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字	3,900 文字
数式:数式の評価後に表示される最大文字数	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字	1,300 文字
数式:保存時の最大数式サイズ(バイト単位)	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト	4,000 バイト

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
数式:コンパイル時の最大数式サイズ(バイト単位)	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト	5,000 バイト
数式:オブジェクトあたりの一意のリレーション数	10	10	10	10	10	10	10
数式:VLOOKUP 関数	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。	オブジェクトにつき最大 10 項目。
アイデア:HTML 形式のアイデアの説明の最大サイズ	なし	なし	なし	32 KB	32 KB	32 KB	32 KB
アイデア:HTML 形式のアイデアのコメントの最大サイズ	なし	なし	なし	4 KB	4 KB	4 KB	4 KB
主従関係:子レコードの最大数	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵	10,000 ⁵
オブジェクト:削除する結合オブジェクトと子レコードの最大数	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
オムニチャネル:1 時間あたりのキューに入れられた作業項目の最大数 ⁶	なし	なし	なし	500	500	500	500
オムニチャネル:待機中の転送要求の最大数 ⁷	なし	なし	なし	1,000	1,000	1,000	1,000
商談:商談チームメンバーの最大数	なし	なし	なし	なし	30	30	30
権限セット:作成される権限セットの最大数	なし	1	1	1	1,000	1,000	1,000
権限セット:権限セットの最大数(インストールされた管理 AppExchange)	なし	なし	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
パッケージの一部として作成および追加される権限セットを含む)							
質問: 最大文字数	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	なし
質問: 最大文字数 (Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)	なし	なし	なし	なし	32,000	32,000	なし
見積 PDF: 最大ロゴサイズ	なし	なし	なし	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB
見積 PDF: ロゴの最大高さ	なし	なし	なし	150 ピクセル	150 ピクセル	150 ピクセル	150 ピクセル
ごみ箱: 最大レコード数	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍	MB 単位のストレージ容量の 25 倍
返信: 最大文字数	なし	なし	なし	なし	1,000	1,000	なし
返信 (非公開): 最大文字数 (Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)	なし	なし	なし	なし	4,000	4,000	なし
返信 (公開): 最大文字数 (Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)	なし	なし	なし	なし	32,000	32,000	なし
Shared Activities	すべてのエディション: 組織で Shared Activities を有効にしている場合、最大 50 人の取引先責任者を非定期ToDo、非グループToDo、および非定期的な行動に関連付けることができます。1 人の主取引先責任者を割り当てます。その他はすべて副取引先責任者になります。						
共有ルール	なし	なし	なし	Professional Edition、Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、および Developer Edition では、システム管理者はオブジェクトあたり最大 300 個の共有ルールを作成でき、その中には、最大 50 個の条件ベースのルールも含まれます。			

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
静的リソース	なし	1つの静的リソースのサイズは、最大5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	1つの静的リソースのサイズは、最大5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	1つの静的リソースのサイズは、最大5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	1つの静的リソースのサイズは、最大5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	1つの静的リソースのサイズは、最大5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。	1つの静的リソースのサイズは、最大5 MB までです。 組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。
タブ (AppExchange で公開して投稿されている管理パッケージに含まれるカスタムタブが Salesforce エディションの制限数にカウントされることはありません。)	なし	3	5	10	25	制限なし	100
タグ	<p>すべてのエディションで、ユーザが使用できるタグには、次のような最大数の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人タグの作成数は 500 個まで 個人タグのレコードへの適用数は 5,000 件まで <p>すべてのユーザを対象として、組織で持つことができるそれぞれの最大数は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開タグの作成数は 1,000 個まで 公開タグのレコードへの適用数は 50,000 件まで 個人タグと公開タグのレコードへの適用数は 5,000,000 件まで 						
テリトリー取引先割り当てルールの最大数	なし	なし	なし	なし	15	15	15

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
ユーザ作成するユーザの最大数 ¹	5	5	10	制限なし	制限なし	制限なし	2
	Chatter Free ユーザ 5000 人	Chatter Free ユーザ 5000 人	Chatter Free ユーザ 5000 人	Chatter Free ユーザ 5000 人	Chatter Free ユーザ 5000 人	Chatter Free ユーザ 5000 人	Chatter Free ユーザ 5000 人
Visual Workflow	なし	なし	なし	なし	Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、Developer Edition の場合、各フローの制限は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 50 のバージョン 2000 ステップ 各組織の制限は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 500 の有効なフロー 1000 の合計フロー 一時点の待機中インタビュー数は 30,000 件 1 時間あたりに処理されるイベントは 1000 件 フローおよびフローバージョン全体の定義済み相対アラームイベントは 20,000 件 		
Web-to-ケース:24時間あたりの生成する新規ケースの最大件数	なし	なし	なし	5,000 ⁸	5,000 ⁸	5,000 ⁸	5,000 ⁸
Web-to-リード:24時間あたりの生成する新規リードの最大件数	なし	なし	なし	500 ⁸	500 ⁸	500 ⁸	500 ⁸

¹ ケース、ソリューション、キャンペーン、ToDo、または行動の [添付ファイル] 関連リストか、取引先、取引先責任者、リード、商談、またはカスタムオブジェクトの [メモ&添付ファイル] 関連リストに添付ファイルを追加できます。ToDo の関連リストまたは行動ページレイアウトが表示されない場合は、追加するようシステム管理者に依頼する必要があります。Microsoft® PowerPoint のプレゼンテーションや Excel スプレッドシートといったものから、Adobe® PDF、画像ファイル、音声ファイル、動画ファイルまで、あらゆるファイル形式をサポートします。

- ² データが URL のトークンと入れ替えられる場合、リンクが 3,000 バイトを超える可能性があります。使用中のアプリケーション制限の緩和
ブラウザによって、URL の最大長に別の制限が強制されることがあります。
- ³ それぞれのリレーションは、規定されているカスタム項目の最大数に計数されます。
- ⁴ 100 件の外部オブジェクト制限は、組織で購入する Lightning Connect アドオン数に関係なく適用されます。
- ⁵ ベストプラクティスとして、主従関係の子レコードは 10,000 を超えることはできません。
- ⁶ オムニチャネル対応のすべてのキューで、組織で 1 時間あたりにキューに入れることができるレコードの最大数。項目がオムニチャネルキューに割り当てられるたびに、直前の 1 時間でキューに入れられた項目数がプラットフォームで確認されます。制限に達した場合、項目はキューに割り当てられません。

関連トピック:

[アクセシビリティの制限](#)

[インライン編集の制限](#)

[Salesforce レポートおよびダッシュボードの制限 - エディション別](#)

[オブジェクトごとに許可されるカスタム項目](#)

Expansion Pack (拡張パック) および Unlimited Apps Pack (無制限アプリケーションパック) を使用したアプリケーション制限の緩和

組織は、Expansion Pack (拡張パック) または Unlimited Apps Pack (無制限アプリケーションパック) を使用して組織のアプリケーション関連の制限をより高く設定できます。

Professional Edition 用の Expansion Pack

Professional Edition の場合、Expansion Pack ユニットを購入して、アプリケーション、タブ、オブジェクトの制限をより高く設定できます。各 Expansion Pack ユニットは、組織のユーザライセンスに対応しています。

次の表に、Expansion Pack によってアップグレードされる制限を示します。

機能	Professional Edition	Professional Edition + Expansion Pack
カスタムアプリケーション	5	15
カスタムタブ	10	25
カスタムオブジェクト	50	200

Enterprise Edition 用の Unlimited Apps Pack

Enterprise Edition の場合、Unlimited Apps Pack ユニットを購入して、アプリケーション、タブ、オブジェクトの制限をより高く設定したり、最大 API コール数やデータストレージ容量を増やしたりできます。各 Unlimited Apps Pack ユニットは、組織のユーザライセンスに対応しています。

次の表に、Unlimited Apps Pack によってアップグレードされる制限を示します。

機能	Enterprise Edition	Enterprise Edition + Unlimited Apps Pack
カスタムアプリケーション	10	制限なし (9,999)
カスタムタブ	25	制限なし (9,999)
カスタムオブジェクト	200	2,000
API コール	ライセンスの種類によって異なります。	現在の制限 + 4,000 コール
データストレージ	20MB/ユーザまたは1GB/組織のいずれか大きい方	120 MB/ユーザまたは 1 GB/組織のいずれか大きい方

パックユニットの追加

Expansion Pack ユニットおよび Unlimited Apps Pack ユニットは、Sales Cloud、Service Cloud、Force.com、Site.com 限定ユーザが使用できます。組織は、Expansion Pack または無制限アプリケーションパックを使用して1回のみアップグレードできます。組織で、アプリケーション制限をパックによる緩和よりもさらに緩和する必要がある場合、組織のエディションをアップグレードすることをお勧めします。Expansion Pack ユニットまたは Unlimited Apps Pack ユニートを追加するには、Salesforce の担当者までお問い合わせください。

アクセシビリティの制限

アクセシビリティの全般的な制限、およびキーボードとスクリーンリーダーの制限について説明します。

アクセシビリティの全般的な制限

Chatter と Salesforce コンソールは、アクセシビリティ機能に対応していません。

晴眼のキーボードユーザ向けに最適化されていない Salesforce 機能

次の機能は、サードパーティに所有権がある、アクセシビリティのソリューションとして現在適切なサポートがされていない、当社の開発環境に制約があるなどの理由で、晴眼のキーボードユーザからすべてにアクセスできるようになっていません。

- 視覚焦点インジケータは実装されていません。
- コンテンツによっては、対応するキーボードフォーカスと順序コントロールがないまま、フロート表示ボックスに表示されるものがあります。Chatter とトレーニングビデオにそのようなものがあります。
- ドラッグ&ドロップ方式のインターフェースなど、いくつかのリッチインタラクティブインターフェースには、キーボードアクセスができないものがあります。これらは代替方式が用意されている場合もありますが、アクセシビリティモードで使用できないものもあります。

スクリーンリーダーユーザ向けに最適化されていない Salesforce 機能

次の機能は、サードパーティに所有権がある、アクセシビリティのソリューションとして現在適切なサポートがされていない、当社の開発環境に制約があるなどの理由で、スクリーンリーダーユーザからすべてにアクセスできるようになっていません。

- ドラッグ&ドロップ方式のインターフェースなど、いくつかのリッチインタラクティブインターフェースには、アクセスできないものがあります。これらは代替方式が用意されている場合もありますが、アクセシビリティモードで使用できないものもあります。
- PDFファイルはアクセシビリティ用にマークアップされていません。また、代替となるものもありません。
- トレーニングビデオには、音声解説がありません(拡張音声解説など)。
- いくつかのコンテンツは、スクリーンリーダーからモーダル(応答を必要とするもの)とは認識されないフロート表示ボックスに表示され、ユーザはフロート表示を破棄しなくても他のコンテンツと対話できます。Chatter とトレーニングビデオにそのようなものがあります。
- 読み取り速度が遅い場合、セッションタイムアウトの警告のため、ユーザ応答のための十分な時間がとれない場合があります。

Chatter と Salesforce コンソールは、アクセシビリティ機能に対応していません。

Salesforce レポートおよびダッシュボードの制限

レポート、スナップショット、ダッシュボード、条件検索、埋め込まれたレポートグラフ、およびリストビューの制限です。

このセクションの内容:

[レポートおよびダッシュボードの制限 - すべてのエディション](#)

[Salesforce レポートおよびダッシュボードの制限 - エディション別](#)

レポートおよびダッシュボードの制限 - すべてのエディション

すべてのサポート対象のエディションには、Salesforce レポートおよびダッシュボードについて次の制限が適用されます。

レポート制限

- レポートビルダープレビューでは、サマリーおよびマトリックスレポートでは最大 20 行および表形式では最大 50 行を表示します。
- グラフには、250 を超えるグループまたは 4,000 を超える値を含めることはできません。グラフに描画するグループまたは値が多すぎるというエラーメッセージが表示された場合は、レポート検索条件を調整して、数を減らしてください。組み合わせグラフでは、すべてのグループおよび値が合計のカウント対象となります。
- レポートでは、最大 2,000 行を表示します。すべての行を表示するには、Excel にレポートをエクスポートするか、表形式レポートおよびサマリーレポート用の印刷用ビューを使用します。結合レポートでは、エクスポートは使用できず、印刷用ビューには最大 20,000 行を表示します。

- [詳細の表示]が無効な場合、サマリーおよびマトリックスレポートでは、最初の 2,000 個のグルーピングが表示されます。
- マトリックスレポートでは、最大 400,000 個の集計値を表示します。
- [詳細の表示]が無効な場合、マトリックスレポートでは、横軸に最大 2,000 個のグルーピングを表示します。400,000 個を超える集計値がある場合は、2,000 個のグルーピングの制限を満たすまで行が削除され、集計値の数が 400,000 個を下回るまで列が削除されます。
- グルーピングがあるレポートを Salesforce1 で表示すると、表形式レポートに変換されます。
- デフォルトでは、レポートは 10 分後にタイムアウトします。
- 結合レポートでは、ブロックごとに最大 100 列を設定できます。結合レポートには、最大 5 ブロックを設定できます。
- 結合レポートの各ブロックには最大 10 個のカスタム集計項目を追加できます。結合レポートには、合計 50 個のカスタム集計項目を含めることができます。
- 結合レポートごとに最大 10 個のクロスブロックカスタム集計項目を設定できます。
- [説明] や [ソリューション詳細] など、標準ロングテキストエリア項目で絞り込む場合は、項目の先頭の 1000 文字だけが検索に使用されます。
- レポートには、リッチテキストエリアまたはロングテキストエリアの最初の 254 文字のみが表示されます。
- 表形式レポート、サマリーレポート、およびマトリックスレポートの集計項目では、最大 21 桁まで表示できます。
- カスタムロングテキストエリア項目でレポートを絞り込むことはできません。
- 結合レポートでは、新しいユーザーインターフェースのテーマが有効化されている必要があります。新しいテーマのないユーザは、結合レポートの作成、編集、実行ができません。
- 売上予測レポートには、売上予測期間内に完了するように設定されている商談のみが表示されます。ただし、売上予測分類として「売上予測から除外」に割り当てられている商談を除きます。
- Internet Explorer 6 は、結合レポートではサポートされていません。

ダッシュボードの制限

- ダッシュボード検索条件には、最大 50 個のオプションを設定できます。デフォルトでは、10 個のオプションが有効になっています。制限を引き上げる場合は、Salesforce にお問い合わせください。
- 各ダッシュボードには、最大 20 個のコンポーネントを持たせることができます。
- バケット項目を検索条件にした絞り込みはできません。ただし、ダッシュボードページのバケット項目で絞り込んだレポートを使用することは可能です。
- ダッシュボードのテーブルまたはグラフは、最大 20 個の写真を表示できます。
- ダッシュボードを更新するときは、少なくとも 1 分間待つ必要があります。

レポートタイプの制限

- カスタムレポートタイプには、最大 60 個のオブジェクト参照を含めることができます。たとえば、4 つのレポートタイプのオブジェクトリレーションの最大限度を選択すると、参照によりその他に 56 オブジェクトから項目を選択できることとなります。ただし、カスタムレポートタイプでレポートを実行しているときに、そのレポートに 20 を超えるオブジェクトの列が含まれている場合は、エラーメッセージが表示されます。

- カスタムレポートタイプには、それぞれ最大 1000 項目まで追加できます。

レポート作成スナップショットの制限

- カスタムオブジェクトに挿入できる行の最大数は、2,000 個です。
- 格納できる実行の最大数は、200 個です。
- 対象項目に対応付けできるソースレポートの列の最大数は、100 個です。

検索条件の制限

カスタムテキスト項目の最初の 255 文字のみが、検索条件のためにカウントされます。

埋め込まれたレポートグラフの制限


- ページあたり 2 つのレポートグラフを使用できます。
- 高度なページレイアウトエディタからのみレポートグラフを追加できます。ミニコンソールおよび従来のページレイアウトエディタはサポートされていません。
- ユーザは、詳細ページで 60 分ごとに 100 個までのレポートグラフを更新できます。
- 組織は、60 分ごとに 3,000 個までのレポートグラフを更新できます。

リストビューの制限

- リストビューのカスタムロングテキストエリア項目では、先頭の 255 文字だけが表示されます。

バケットおよびバケット項目の制限

- 各レポートには、最大 5 個のバケット項目を含めることができます。
- 各バケット項目には、最大 20 個のバケットを含めることができます。
- 各バケットには、最大 20 個の値を含めることができます。
- バケット項目は、バケット項目が生成されたレポートでのみ使用できます。バケットを複数のレポートで使用するには、レポートごとに項目を作成するか、バケットに依存するオブジェクトに対して別個の数式項目を作成します。

 **メモ:** 以上の制限は、バケット項目の設定で許可されている [その他] の使用には適用されません。

関連トピック:

[Salesforce レポートおよびダッシュボードの制限 - エディション別](#)

[レポートおよびダッシュボード REST API の制限](#)

[Salesforce の機能とエディションの制限](#)

Salesforce レポートおよびダッシュボードの制限 - エディション別

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
レポートあたりの項目の検索条件数 ¹	20	20	20	20	20	20	20
レポートあたりの数式	5	5	5	5	5	5	5
スケジュール済みレポート (メール送信するレポートの容量は最大 10 MB)。	なし	なし	なし	1 時間あたり ^{1,2} (ピーク時間以外のみ ³) (希望開始時刻は 3 個に制限され、変更はできない)	1 時間あたり ^{1,2}	1 時間あたり ^{2,2}	1 時間あたり ^{1,2} (ピーク時間以外のみ ³) (希望開始時刻は 3 個に制限され、変更はできない)
ダッシュボード検索条件	なし	なし	なし	1 ダッシュボードにつき 3 個	1 ダッシュボードにつき 3 個	1 ダッシュボードにつき 3 個	1 ダッシュボードにつき 3 個
動的ダッシュボード	なし	なし	なし	なし	組織あたり最大 5 つ	組織あたり最大 10	組織あたり最大 3 つ
ダッシュボードの更新のスケジュール設定	なし	なし	なし	なし	1 時間あたり ^{1,2}	1 時間あたり ^{2,2}	なし
カスタムレポートタイプ (制限は、開発状況に関係なく、すべてのカスタムレポートタイプに適用される)	なし	なし	なし	50	200	2,000	400
レポート作成スナップショット	なし	なし	なし	1 時間あたり ^{1,2} (ピーク時間以外のみ ³) (1 日あたり希望開始	1 時間あたり ^{1,2}	1 時間あたり ^{2,2}	1 時間あたり ^{1,2} (ピーク時間以外のみ ³) (1 日あたり希望開始

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
				時刻は1個に制限され、変更はできない			時刻は1個に制限され、変更はできない

¹ これらの制限はレポートビルダーに適用されます。レポートウィザードを使用している場合、制限は 10 です。

² 合計で 200 まで可能。

³ ピーク時以外の時間帯とは、ローカル時間の午後 6 時～午前 3 時です。

関連トピック:

[レポートおよびダッシュボードの制限 - すべてのエディション](#)

[Salesforce の機能とエディションの制限](#)

インライン編集の制限

インライン編集が許可されていない機能と項目について説明します。

インライン編集機能には次の制限が適用されます。

- 次の場合は、インライン編集できません。
 - アクセシビリティモード
 - 設定ページ
 - ダッシュボード
 - カスタマーポータル
 - HTML ソリューションの説明
- ケース、リード編集ページにある次の標準チェックボックスは、インライン編集できません。
 - ケース割り当て ([有効な割り当てルールによりケースを割り当てる])
 - ケースメール通知 ([メールで取引先責任者に通知する])
 - リード割り当て ([有効な割り当てルールによりリードを割り当てる])
- 次の標準オブジェクトの項目はインライン編集できません。
 - ドキュメントおよび価格表のすべての項目
 - [件名] および [コメント] を除く ToDo のすべての項目

- [件名]、[説明]、および [場所] を除く行動のすべての項目
- 個人取引先、取引先責任者、およびリードの氏名項目ただし、コンポーネント項目は、[姓] や [名] などです。
- 項目レベルセキュリティまたは組織の共有モデルによるインライン編集を使用して、参照のみの権限しか持っていないレコードの項目の値を変更できます。ただし、変更内容を保存することはできません。保存しようとする、権限が不十分であるため保存できない旨のエラーメッセージが表示されます。

検索の制限

ファイル拡張子、ファイルサイズ、選択リストの検索の制限です。

このセクションの内容:

[ドキュメントの検索の制限](#)

ドキュメントのファイルの種類およびファイルサイズによる検索の制限です。

[選択リスト検索の制限](#)

ドキュメントの検索の制限

ドキュメントのファイルの種類およびファイルサイズによる検索の制限です。

ドキュメントコンテンツの検索では、複数のファイルの種類がサポートされ、ファイルサイズに制限がありません。最大サイズを超えるドキュメントのコンテンツは検索できません。ただし、ドキュメント項目は検索されます。最初の 100 万文字のみが検索されます。この制限を超えるテキストは検索に含まれません。

ファイルの種類	ファイル拡張子	最大サイズ
HTML (<body> タグ内のテキストのみ)	.htm、.html、.xhtml	5 MB
PDF	.pdf	25 MB
PPT	.pot、.pps、.ppt	25 MB
RTF	.rtf	5 MB
テキスト	.c、.cpp、.css、.csv、.ini、.java、.log、.sql、.txt	5 MB
Word	.doc、.dot	25 MB
XLS	.xls、.xlt	5 MB、または最大 100,000 セル
XML	.xml	5 MB

関連トピック:

[Chatter のファイル検索の制限](#)

[Salesforce CRM Content の制限](#)

選択リスト検索の制限

特定のオブジェクトに対して検索結果を並び替える場合、複数選択リスト項目のデータ型は並び替えることができないため、複数選択リスト項目の列ヘッダーはクリックできません。


標準オブジェクトの制限

標準オブジェクトの制限には、追加したカスタム項目やオブジェクトに適用した共有ルールなど、オブジェクトのカスタマイズの使用状況に関する詳細が含まれます。

リストは、オブジェクトによって異なります。カスタマイズがオブジェクトに許可された制限を超えた場合、または制限の 75% に達した場合、対処方法を提案するヒントが表示されます。

特定の標準オブジェクトをカスタマイズする場合、またはそのオブジェクトのカスタマイズの利用状況および制限を監視する場合、標準オブジェクトの制限ページを参照します。

適切なオブジェクトの管理設定から、[制限] に移動します。

 **メモ:** オブジェクトの制限割合 (%) は、切り上げではなく、切り捨てられます。たとえば、組織が特定のカスタマイズの制限の 95.55% を使用している場合、オブジェクト制限には 95% が表示されます。

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic および
Lightning Experience の両方

使用可能なエディション:
Database.com Edition を除く
すべてのエディション

管理およびサポートの制限

このセクションの内容:

割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカーレーションルールの制限

エディション別の、リードの生成、メールレスポンス、エスカーレーションの自動化の制限です。

Chatter アンサーの制限

質問およびカスタマーポータルのカスタマイズの制限です。

項目、選択リスト、データ設定の制限

カスタム項目、選択リスト、カスタム選択リスト、カスタムデータ設定の制限です。

カスタマーポータルの制限

カスタマーポータルのカスタムオブジェクトの制限およびポータルユーザの制限です。

データのインポートの制限

データローダを使用したデータのインポートの制限です。

外部データのインテグレーションの制限

Lightning Connect では、Salesforce 組織外に保存されているデータへのアクセスに制限があります。

External Identity ユーザー数制限

External Identity ユーザーライセンス数による制限。

メール制限

メール、一括メール送信、ワークフローメールの制限です。

Salesforce ナレッジの制限

エディション別の Salesforce ナレッジの制限です。

項目の制限

暗号化項目、差し込み項目、数式項目の制限です。

ファイルとディスク使用制限

Salesforce Files、CRM コンテンツ、Chatter、ストレージ割り当ての制限です。

Force.com サイトのページビューの制限

ページビューとしてカウントされる要求の制限です。

Force.com サイトの請求の制限

Force.com サイトに関連する制限および請求に使用される用語です。

Sandbox と Sandbox ストレージの全般的な制限

Sandbox 環境の制限です。

組織の共有設定の制限

組織の共有設定でのオブジェクトの制限です。

パートナーポータルの制限

パートナーポータルでの制限です。

パスワードポリシーの制限

ユーザパスワードの数値と使用の制限です。

Salesforce コンソールの制限

Salesforce コンソールの使用での全般的な制限です。

サイトのエディションの制限

エディション別の、サイト数、帯域幅、サービス要求時間、最大ページビューの制限です。

Site.com のインポートの制限

サイトおよびファイルのインポートの制限です。

Web 要求の制限

Web 要求の同時使用の制限です。

割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカーレーションルールの制限

エディション別の、リードの生成、メールレスポンス、エスカーレーションの自動化の制限です。

割り当てルールは、組織のリードの生成とサポートプロセスを自動化します。自動レスポンスルールは、リードまたはケース登録に自動メールレスポンスを送信する条件を指定します。エスカーレーションルールは、ケースが一定の期間内に解決されない場合に自動的にエスカーレーションを行います。

Salesforce エディションによって、さまざまな種類のルールに制限がある場合があります。次の表に、各エディションでの制限を示します。

制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
有効なルール (制限は、有効なプロセスルールとワークフロールール、割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの任意の組み合わせに適用されます。)	なし	なし	なし	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。
許可されたルール数合計 (制限は、有効または無効両方のワークフロールール、割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの任意の組み合わせに適用されます。)	なし	なし	なし	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件

制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカーレーションルール	なし	なし	なし	割り当て、自動レスポンス、およびエスカーレーションルールごとに次の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> 3,000 件のエントリ 300 件の数式条件エントリ エントリごとに 25 件の検索条件 			
ルールあたりの使用できるアクションの合計	なし	なし	なし	200	200	200	200

Chatter アンサーの制限

質問およびカスタマーポータルのカスタマイズの制限です。

Chatter アンサーは、ケース、アンサー、Force.com サイト、カスタマーポータル、Salesforce ナレッジを Web コミュニティに統合します。

Chatter アンサーには次の制限が適用されます。

- Chatter アンサーの質問は、最大で 500 件の回答を受け取ることができます。
- カスタマーポータルをカスタマイズする場合、アンサーではすべてのタブスタイルおよび次のページスタイルのみがサポートされます。
 - ページ背景
 - テキスト
 - リンク
 - リンクのフロート表示

項目、選択リスト、データ設定の制限

カスタム項目、選択リスト、カスタム選択リスト、カスタムデータ設定の制限です。

このセクションの内容:

- [オブジェクトごとに許可されるカスタム項目](#)
エディション別のカスタム項目数の制限です。

カスタム選択リストの制限

ユーザがあらかじめ定義された選択肢から値を選択できる、カスタマイズされた選択肢のリストの制限です。

カスタム設定制限

カスタム設定が許可されるキャッシュデータの量の制限です。

標準選択リストの制限

標準選択リストのエントリ数の制限です。

オブジェクトごとに許可されるカスタム項目

エディション別のカスタム項目数の制限です。

オブジェクトあたりの使用できるカスタム項目数は、Salesforce のエディションによって異なります。活動項目、ロングテキストエリア項目、リッチテキストエリア項目、リレーション項目、および積み上げ集計項目の最大数も同様に異なります。次の表に、各カスタム項目のデータ型およびエディションの最大制限を示します。

カスタム項目の制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
活動	なし	なし	なし	20	100	100	100
ロングテキストエリア項目	項目のデータ型に関係なく、オブジェクトに許可されるカスタム項目の合計数に関するエディションの制限は適用されますが、オブジェクトには、リッチテキストエリア項目やロングテキストエリア項目を無制限に含めることができます。各オブジェクトは、ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目で合計 160 万文字を使用できます。ロングテキストエリア項目またはリッチテキストエリア項目を作成するとき、項目の文字数制限、つまり入力可能なテキストの最大長を設定します。ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目のデフォルトの文字数制限は、32,768 文字 (32 KB) です。ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目の最大文字数制限は、131,072 文字 (128 KB) です。最小文字数制限は 256 文字です。リッチテキストエリア項目にアップロードできる画像の最大サイズは 1 MB です。						
リレーション項目	なし	40	40	40	40	40	40
積み上げ集計項目	なし	25	25	25	25	25	25

カスタム選択リストの制限

ユーザがあらかじめ定義された選択肢から値を選択できる、カスタマイズされた選択肢のリストの制限です。

合計 15,000 文字の範囲内で、カスタム選択リストには次の制限があります。

- 最大 1,000 個のエントリ
- エントリあたり最大 255 文字

複数選択のカスタム選択リストの場合は次のようになります。

- 最大 500 個の値
- 値あたり最大 40 文字

複数選択リストの場合、ユーザは 1 レコードに対し一度に最大 100 個の値を選択できます。

カスタム設定制限

カスタム設定が許可されるキャッシュデータの量の制限です。

カスタム設定には、数式項目、入力規則、Apex、および SOAP API からアクセスできます。

キャッシュされるデータ量およびカスタム設定には次の制限が適用されます。

- 組織に許可されるキャッシュデータの合計量は、次の 2 つの値のうち小さい方です。
 - 10 MB
 - 1 MB × 組織のフルユーザライセンス数

たとえば、組織にフルライセンスが 3 つある場合、カスタム設定ストレージは 3 MB になります。組織にフルライセンスが 20 ある場合は、ストレージは 10 MB になります。

- 組織の制限に加えて、認定管理パッケージごとに別個の制限が適用されます。たとえば、組織に認定管理パッケージが 2 つインストールされ、フルライセンスが 3 つあるとします。組織の 3 MB というカスタム設定のストレージ制限に加え、認定管理パッケージごとに 3 MB のストレージをカスタム設定できます。
- カスタム設定ごとに、最大 300 個の項目を追加できます (カスタムオブジェクトの項目制限が 300 未満の場合を除く)。カスタムオブジェクトの項目制限が 300 未満の場合は、カスタム設定の項目制限とカスタムオブジェクトの項目制限が同じになります。

標準選択リストの制限

標準選択リストのエントリ数の制限です。

選択リストとはカスタマイズされた選択内容のリストのことであり、このリストを使用して、ユーザはあらかじめ定義された選択肢から値を選択できます。

選択リスト内の最大エントリ数は、選択リストに許容される合計文字数 (15,000 文字) によって決まります。各エントリには、非表示の改行と復帰の記号が含まれます。エントリごとに追加されるこの 2 文字も、15,000 文字の制限に数えられます。

標準選択リストの場合、エントリには改行と復帰を除く最大 40 文字を含めることができます。標準複数選択リストでは、すべてのエントリの合計文字数は 255 文字を超えることはできません。

レコードタイプまたはトランスレーションワークベンチを使用する組織の標準選択リストの場合、特殊な選択リストの次の例外を除き、エントリ数に制限はありません。

選択リスト項目	最大エントリ数
リード状況	100

選択リスト項目	最大エントリ数
ToDo の状況	100
ToDo の優先度	50
ケースの状況	100
ケース優先度	50
商談フェーズ	100

カスタマーポータルの制限

カスタマーポータルのカスタムオブジェクトの制限およびポータルユーザの制限です。

有効にできるカスタマーポータル数とカスタマーポータルユーザライセンス数についての詳細は、Salesforce にお問い合わせください。

カスタマーポータルのカスタムオブジェクトの制限

カスタマーポータルのカスタムオブジェクトには次の制限が適用されます。

- カスタマーポータルで作成できるカスタムオブジェクトの最大数は、使用しているエディションで作成できるカスタムオブジェクトの総数によって決定されます。
- また、カスタマーポータルでポータルユーザに表示できるカスタムオブジェクト数は、ユーザライセンスによって制御されます。詳細は、Salesforce にお問い合わせください。

ポータルユーザの制限

ポータルユーザには次の制限が適用されます。

- Salesforce CRM Content 機能ライセンスを持っていないポータルユーザでも、「ポータルのコンテンツの参照」ユーザ権限があれば、コンテンツのダウンロード、評価、コメントの追加、および登録を実行できます。ユーザ名やダウンロード、バージョン、登録者履歴など、機密データを参照することはできません。コンテンツ配信機能は、ポータルユーザには設計されていません。
- Salesforce CRM Content 機能ライセンスを持っているポータルユーザは、コンテンツの寄稿、ライブラリ間でのコンテンツの移動と共有、コンテンツの削除など、ライブラリ権限によって付与されているすべての Salesforce CRM Content 機能にアクセスできます。また、Salesforce CRM Content レポートを参照することもできます。コンテンツ配信機能は、ポータルユーザには設計されていません。
- ポータルの名前は組織内で一意であり、カスタマーポータルまたはパートナーポータルですでに使用されていない名前である必要があります。また、カスタマーポータルの名前を「パートナーポータル」カスタマーポータルに指定するとエラーが発生する場合があります。
- ロールを持たない大規模ポータルユーザのロールに関するレポートは、作成できません。
- 大規模ポータルユーザはチームに追加できません。
- ページレイアウトにタグセクションが含まれていても、カスタマーポータルユーザには表示されません。

個人取引先の制限

Salesforce ユーザは最大 1000 件の個人取引先ポータルユーザの所有者になることができます。これには、カスタマーコミュニティプラスライセンス、カスタマーポータルライセンス、およびロールベースのポータルライセンスを持つ個人取引先ユーザが含まれます。大規模カスタマーポータルやカスタマーコミュニティなど、大規模ポータルライセンスを持つ個人取引先ユーザは、この制限数の対象にはなりません。パートナーポータルライセンスまたはパートナーコミュニティライセンスを持つユーザは、個人取引先ユーザになり得ないため、この制限は適用されません。

ポータルロールの制限

組織のポータルロールの最大数は 5000 です。この制限には、組織のすべてのカスタマーポータル、パートナーポータル、またはコミュニティに関連付けられたポータルロールが含まれます。この数が不必要に増加しないように、各ポータルおよびコミュニティのロール数を確認して削減することをお勧めします。また、使用していないポータルロールも削除するようにしてください。さらに多くのポータルロールが必要な場合は、Salesforce カスタマーサポートまでご連絡ください。

データのインポートの制限

データローダを使用したデータのインポートの制限です。

データローダを使用してインポートしたデータには次の制限事項が適用されます。

特定の範囲内の日付のみが有効です。最も早い有効な日付は 1700-01-01T00:00:00Z GMT、つまり、1700 年 1 月 1 日の午前 0 時です。有効な日付の最大値は 4000-12-31T00:00:00Z GMT、つまり、4000 年 12 月 31 日の午前 0 時です。これらの値は、タイムゾーンごとのオフセットとなります。たとえば、太平洋タイムゾーンでは、最も早い有効な日付は 1699-12-31T16:00:00、つまり 1699 年 12 月 31 日の午後 4 時です。

バージョン 28.0 以降のデータローダを使用する場合、インポートした CSV ファイルの項目最大サイズは 32,000 文字です。

外部データのインテグレーションの制限

Lightning Connect では、Salesforce 組織外に保存されているデータへのアクセスに制限があります。

一般的な Lightning Connect の制限

ユーザごとに、オブジェクト権限を付与する外部オブジェクトの最大数は、ユーザがアクセスを許可されているカスタムオブジェクトの最大数と同じになります。この制限は、ユーザに割り当てられたユーザライセンスによって決まります。

組織あたりの外部オブジェクトの最大数 ¹	100
外部オブジェクトとその他の種別のオブジェクト全体でのクエリあたりの結合の最大数	4
外部システムから発行される OAuth トークンの最大長	4000 文字

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic

使用可能なエディション:
Developer Edition

有料オプションで使用可能なエディション:
Enterprise Edition、
Performance Edition、および
Unlimited Edition

¹ 100 件の外部オブジェクト制限は、組織で購入する Lightning Connect アドオン数に関係なく適用されます。

次の制限は、Lightning Connect の OData 2.0 および 4.0 アダプタにのみ適用されます。

OData の最大 HTTP 要求サイズ	8 MB
OData の最大 HTTP 応答サイズ	8 MB
OData クエリの最大結果セットサイズ	16 MB
OData サブクエリの最大結果セットサイズ	1,000 行
1 外部データソースにつき 1 時間あたりに取得される新しい行の最大数 (この制限は、大量データの外部データソースまたは以前に取得されていない行には適用されません)。	50,000

組織には次の制限があります。

- Enterprise Edition、Performance Edition、および Unlimited Edition では、1 時間あたり 10,000 個の OData クエリ。要求に応じて制限を緩和できます。
- Developer Edition では、1 時間あたり 1,000 個の OData クエリ。

Lightning Connect の互換性の制限

- 次の機能は、外部オブジェクトでは使用できません。
 - Apex 共有の理由
 - Apex トリガ
 - 承認プロセス
 - 添付ファイル
 - 項目履歴管理
 - フロー (Visual Workflow)
 - 差し込み項目
 - メモ
 - プロセス (プロセスビルダー)
 - レコードレベルセキュリティ (共有)
 - レコードタイプ
 - レポート
 - スキーマビルダー
 - 入力規則
 - ワークフロールール
- 数式項目および積み上げ集計項目では、外部オブジェクトの項目を参照できません。
- 次のカスタム項目のデータ型は、外部オブジェクトでは使用できません。

- 自動採番
 - 通貨
 - 数式
 - Geolocation
 - 主従関係
 - 選択リスト
 - 選択リスト (複数選択)
 - 積み上げ集計
 - テキスト (暗号化)
 - テキストエリア (リッチ)
- デフォルト項目値は、外部オブジェクトのカスタム項目では使用できません。

次の制限は、Lightning Connect の Salesforce アダプタにのみ適用されます。

- Lightning Connect の Salesforce アダプタでは、プロバイダ組織のクエリ可能なオブジェクトにのみアクセスできます。クエリ不可能なオブジェクトを指定するテーブル名を持つ外部オブジェクトを定義した場合、ユーザおよび Force.com プラットフォームはその外部オブジェクトにアクセスできません。

Lightning Connect 外部オブジェクトのリレーシヨンの制限

- 外部オブジェクトでは、参照関係、外部参照関係、および間接参照関係のみを使用できます。その他のリレーシヨン種別はサポートされていません。
- 間接参照関係項目は、外部オブジェクトにのみ作成できます。
- 間接参照関係で親オブジェクトとして使用できるのは、External ID および Unique 属性を含むカスタム項目があるオブジェクトのみです。間接参照関係項目を作成するときに目的のオブジェクトが表示されない場合は、一意のカスタム外部 ID 項目をそのオブジェクトに追加します。
- ルックアップ検索条件は、外部参照関係項目では使用できません。
- カスケード削除は、外部オブジェクトリレーシヨンでは使用できません。

Lightning Connect 外部オブジェクトのフィードの制限

- 項目履歴管理は、外部オブジェクトでは使用できません。
- 外部システムからテーブル行が削除されても、その外部オブジェクトレコードのレコードフィードは削除されません。
- レコードフィードは、データ量の非常に多い外部データソースに対応付けられている Lightning Connect 外部オブジェクトには使用できません。

Lightning Connect 外部オブジェクトの API クエリの制限

queryAll()

Salesforce では外部データへの変更を追跡しないため、queryAll() コールの動作は、外部オブジェクトに対する query() と同じです。

queryMore()

外部データの Lightning Connect クエリで、大量の結果セットがバッチやページに分割されて示されることはよくあります。外部オブジェクトをクエリするとき、Lightning Connect は Web サービスコールアウト経由で外部データにリアルタイムにアクセスします。queryMore() コールを実行するたびに、Web サービスコールアウトが行われます。バッチの区切りとページサイズは、アダプタと外部データソースの設定方法に応じて異なります。

次の設定をお勧めします。

- 可能ならば、外部オブジェクトのクエリを、デフォルトのバッチサイズである 500 行よりも少ない行を返すように絞り込んでページングを避けます。バッチを取得するたびに queryMore() コールが必要になり、その結果、Web サービスコールアウトが行われます。
- 外部データが頻繁に変更される場合は、queryMore() コールの使用を避けてください。次の queryMore() コールまでの間に外部データが変更された場合、予期しない QueryResult になることがあります。

SELECT ステートメントの主オブジェクト(「主導」オブジェクト)が外部オブジェクトの場合、queryMore() は主オブジェクトのみをサポートし、サブクエリをサポートしません。

Lightning Connect 外部オブジェクトの検索の制限

- 検索できるのは、外部オブジェクトのテキスト、テキストエリア、およびロングテキストエリア項目のみです。外部オブジェクトに検索可能項目がない場合、そのオブジェクトに対する検索ではレコードは返されません。
- 外部システムでは、検索クエリ文字列全体が大文字と小文字が区別される 1 つの句として受信され、英数字文字以外はすべて削除されます。たとえば、ユーザが *Sales & Marketing* を検索した場合、外部システムは大文字と小文字を区別する検索クエリ文字列「Sales Marketing」を受信します。
- 検索クエリ文字列を意図したとおりに解釈するように外部システムを設定することをお勧めします。たとえば、検索文字列で大文字と小文字を区別しないように設定する場合などがあります。

Lightning Connect 外部オブジェクトの SOSL の制限

- 検索できるのは、外部オブジェクトのテキスト、テキストエリア、およびロングテキストエリア項目のみです。外部オブジェクトに検索可能項目がない場合、そのオブジェクトに対する検索ではレコードは返されません。
- 外部オブジェクトでは、以下をサポートしていません。
 - INCLUDES 演算子
 - LIKE 演算子
 - EXCLUDES 演算子
 - toLabel() 関数
- 外部オブジェクトは、次のような Salesforce ナレッジ固有の句もサポートしていません。
 - UPDATE TRACKING 句
 - UPDATE VIEWSTAT 句
 - WITH DATA CATEGORY 句

- 検索結果に返すには、外部オブジェクトを RETURNING 句で明示的に指定する必要があります。、次に例を示します。

```
FIND {MyProspect} RETURNING MyExternalObject, MyOtherExternalObject
```

次の制限は、Lightning Connect の OData 2.0 アダプタにのみ適用されます。

- Lightning Connect の OData 2.0 アダプタでは、FIND 句で論理演算子をサポートしていません。外部システムでは、検索クエリ文字列全体が大文字と小文字が区別される 1 つの句として受信され、英数字文字以外はすべて削除されます。たとえば、FIND {MyProspect OR "John Smith"} の場合、「MyProspect OR John Smith」と完全一致する語句が検索されます。

次の制限は、Lightning Connect のカスタムアダプタにのみ適用されます。

- 外部オブジェクトの SOSL クエリでは、convertCurrency() 関数はサポートされていません。
- 外部オブジェクトの SOSL クエリでは、WITH 句はサポートされていません。

Lightning Connect 外部オブジェクトの SOQL の制限

- 外部オブジェクトが含まれるサブクエリが取得できるデータは、最大 1,000 行です。
- 各 SOQL クエリ内の結合は、外部オブジェクトとその他の種別のオブジェクト全体で最大 4 個です。
クエリの実行時、結合ごとに外部システムへの往復処理が必要です。クエリ内の各結合に対して長めの応答時間を想定してください。
- 外部オブジェクトでは、次の集計関数と句をサポートしていません。
 - AVG () 関数
 - COUNT (fieldName) 関数 (ただし、COUNT () はサポートされている)
 - HAVING 句
 - GROUP BY 句
 - MAX () 関数
 - MIN () 関数
 - SUM () 関数
- 外部オブジェクトでは、以下もサポートしていません。
 - EXCLUDES 演算子
 - FOR VIEW 句
 - FOR REFERENCE 句
 - INCLUDES 演算子
 - LIKE 演算子
 - toLabel () 関数
 - TYPEOF 句
 - WITH 句

次の制限は、Lightning Connect の OData 2.0 および 4.0 アダプタにのみ適用されます。

- 外部オブジェクトの場合、ORDER BY 句に次の制限があります。
 - NULLS FIRST と NULLS LAST は無視されます。
 - 外部オブジェクトは、リレーションクエリの ORDER BY 句をサポートしません。
- COUNT () 集計関数は、外部データソースで [要求の行数] が有効になっている外部オブジェクトでのみサポートされます。特に、外部システムからの応答には、結果セットの行の合計数を含める必要があります。

次の制限は、Lightning Connect のカスタムアダプタにのみ適用されます。

- 外部オブジェクトのロケーションベースの SOQL クエリはサポートされていません。
- 外部オブジェクトの SOQL クエリに次の要素が含まれている場合、クエリに失敗します。
 - convertCurrency () 関数
 - UPDATE TRACKING 句
 - UPDATE VIEWSTAT 句
 - USING SCOPE 句
- ORDER BY 句の次の構文は無視されます。
 - NULLS FIRST 構文
 - NULLS LAST 構文

Lightning Connect カスタムアダプタ の Apex の制限

- データ型の制限:
 - Double — 18 桁を超える値の精度は失われます。精度を高めるには、double の代わりに decimal を使用します。
 - String — 長さが 256 文字以上の場合、文字列は Salesforce のロングテキストエリア項目に対応付けられません。
- Lightning Connect のカスタムアダプタには、他の Apex コードと同じ制限が適用されます。次に例を示します。
 - すべての Apex ガバナ制限が適用されます。
 - 同じトランザクション内のデータ操作言語 (DML) 操作の後に Apex コールアウトを使用することはできません。つまり、同じトランザクション内で Salesforce レコードを更新し、その後で Apex コールアウトを実行することはできません。

External Identity ユーザ数制限

External Identity ユーザライセンス数による制限。

コミュニティ内の External Identity ライセンスユーザ数が 1 か月に 500 万ユニークユーザを超えないようにすることをお勧めします。この制限を超えて追加のユーザライセンスが必要な場合は、Salesforce のアカウントエグゼクティブにお問い合わせください。この制限を超えると、追加料金および機能の低下が生じる可能性があります。

メール制限

メール、一括メール送信、ワークフローメールの制限です。

このセクションの内容:

メールの全般的な制限

エディションごとのメールおよびメールテンプレートの制限です。

ワークフローメールの日次制限

ワークフロー関連および承認関連のメールアラートの制限です。

一括メール送信の制限

エディション別の一括メール送信の制限です。

メールの全般的な制限

エディションごとのメールおよびメールテンプレートの制限です。

取引先、取引先責任者、リード、商談、ケース、キャンペーン、カスタムオブジェクトの各ページから、組織の取引先責任者、リード、個人取引先、ユーザに個別のメールを送信する場合は、制限はありません。

API または Apex を使用して、グリニッジ標準時 (GMT) に基づいて、1 日に最大 1,000 個の外部メールアドレスに単一メールを送信できます。Salesforce アプリケーションを使用して送信する単一メールはこの制限にカウントされません。取引先、取引先責任者、リード、商談、ケース、キャンペーン、カスタムオブジェクトの各ページから、組織の取引先責任者、リード、個人取引先、ユーザに個別のメールを送信する場合は、制限はありません。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
メールテンプレート:最大サイズ	テキストメールテンプレート: 384 KB	<ul style="list-style-type: none"> テキスト、HTML、およびカスタム HTML テンプレート: 384 KB Visualforce テンプレート: 1 MB 					
Salesforce に送信される受信メール	すべてのエディション: <ul style="list-style-type: none"> メール本文切り捨てサイズ: 32 KB 受信したメールごとに作成されるメール活動の最大数: 50 1つの添付ファイルの最大サイズ: 5 MB 添付ファイルの最大合計サイズ: 25 MB¹ 						
メールサービス: Salesforce で処理する 1	なし	なし	なし	ユーザライセンス数 ×	ユーザライセンス数 ×	ユーザライセンス数 ×	ユーザライセンス数 ×

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition および Performance Edition	Developer Edition
日あたりのメールメッセージの最大数				1,000、1日あたりの最大数 1,000,000	1,000、1日あたりの最大数 1,000,000	1,000、1日あたりの最大数 1,000,000	1,000、1日あたりの最大数 1,000,000
メールサービス:メールメッセージの最大サイズ(メールヘッダー、本文、添付ファイル、エンコードを含む)	なし	なし	なし	25 MB ¹	25 MB ¹	25 MB ¹	25 MB ¹
メール-to-ケース:ケースに変換する1日あたりのメールの最大数	なし	なし	なし	2,500	2,500	2,500	2,500
拡張差し込み印刷:最大レコード数	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
拡張差し込み印刷:選択したテンプレートの最大合計サイズ	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB	1 MB
差し込み項目: Case.Email_Thread	なし	なし	Group Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、Unlimited Edition、Performance Edition、 および Developer Edition の場合:				
			<ul style="list-style-type: none"> • 最大メール数: 200 • メール本文切り捨てサイズ: 32 KB 				
オンデマンドメール-to-ケース:メールの最大サイズ(メールヘッダー、本文、添付ファイル、エンコードを含む)	なし	なし	なし	25 MB ¹	25 MB ¹	25 MB ¹	25 MB ¹
オンデマンドメール-to-ケース:Salesforce で処理する1日あたりのメールメッセージの最大数 (メールサービスの制限に対してカウントする)	なし	なし	なし	ユーザライセンス数× 1,000、1日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数× 1,000、1日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数× 1,000、1日あたりの最大数 1,000,000	ユーザライセンス数× 1,000、1日あたりの最大数 1,000,000

¹メールサービスのメールメッセージの最大数は、言語および文字セットによって異なります。メールメッセージのサイズには、メールヘッダー、本文、添付ファイル、エンコードが含まれます。そのため、添付ファイルが 25 MB のメールは、ヘッダー、本文、エンコードのサイズを考慮すると、メールメッセージの合計サイズ制限 25 MB を超える可能性があります。

関連トピック:

[一括メール送信の制限](#)

[ワークフローメールの日次制限](#)

ワークフローメールの日次制限

ワークフロー関連および承認関連のメールアラートの制限です。

メールアラートから送信されるメールの 1 日の制限は、1 組織につき標準 Salesforce ライセンスあたり 1,000 件です。これは、標準 Salesforce ライセンスあたりの 1 日のワークフローメールの制限が 15 件である、無料の Developer Edition およびトライアル組織を除きます。組織全体での制限は 2,000,000 です。この制限は、ワークフロールール、承認プロセス、フローまたは REST API でメールアラートから送信されるメールに適用されます。

制限は、GMT の午前 0 時に開始および終了する 24 時間の活動に基づいています。ユーザライセンスを追加または削除すると、制限数の合計がすぐに調整されます。メールアラートをグループに送信すると、そのグループのすべての受信者が 1 日あたりのワークフローメール制限としてカウントされます。

組織の制限に到達すると、日次ワークフローメールの制限は次のようになります。

- ワークフローキュー内に残っており、その日に送信されないメールは破棄されます。Salesforce ではこれらのメールを後で再送信しません。
- アクションを伴うワークフロールールとメールアラートが起動された場合、メールアクションのみがブロックされます。
- 最終承認、最終却下、承認、却下、メール取り消しアクションはブロックされます。
- エラーメッセージがデバッグログに追加されます。

次の項目は、ワークフローメール制限にはカウントされません。

- 承認通知メール
- ToDo 割り当て通知
- リードの割り当てルール通知
- ケースの割り当てルール通知
- ケースのエスカレーションルール通知
- Force.com サイトの利用状況のアラート

ワークフローメールアラートが特定の制限に近づいている場合や制限を超えた場合、Salesforce は警告メールをデフォルトのワークフローユーザに送信します。デフォルトのワークフローユーザが設定されていない場合は、有効なシステム管理者に送信します。

状況	Salesforce から送信される警告メール	警告メールの内容
1件のメールの受信者数の制限を超えているため、メールアラートが送信されない	未送信メールアラートごとに1件の警告メール	未送信メールアラートのコンテンツおよび受信者
組織の1日あたりのメール制限の90%に達している	1件の警告メール	制限および組織の利用状況
組織の1日あたりのワークフローメール制限の90%に達している	1件の警告メール	制限および組織の利用状況
組織の1日あたりのメール制限に達しているため、メールアラートが送信されない	制限を超えたメールアラートの試行100件ごとに1件の警告メール	制限および組織の利用状況
組織の1日あたりのワークフローメール制限に達しているため、メールアラートが送信されない	制限を超えたメールアラートの試行100件ごとに1件の警告メール	制限および組織の利用状況

一括メール送信の制限

エディション別の一括メール送信の制限です。

グリニッジ標準時間 (GMT) に基づいて、1組織あたり1日に合計1,000個の外部メールアドレスに一括メール送信できます。各一括メール送信に含むことのできる外部メールアドレスの最大数は、次のようにエディションに応じて異なります。

エディション	一括メール送信あたりの外部アドレス制限
Personal Edition、Contact Manager Edition、および Group Edition	一括メール送信は使用できません
Professional Edition	250
Enterprise Edition	500
Unlimited Edition および Performance Edition	1,000

一括メール送信には次の追加制限が適用されます。

- 単一メールおよび一括メールの制限では、アドレスが一意であるかどうかは考慮されません。たとえば、メールに johndoe@example.com が10回含まれている場合、制限に対して10とカウントされます。
- ポータルユーザを含め、組織の内部ユーザに送信できるメールには制限はありません。
- Developer Edition 組織とトライアルで Salesforce を評価中の組織では、1日あたり10個を超える外部メールアドレスに一括メール送信できません。この低い制限は、組織が Winter'12 リリースより前に作成されており、一括メール送信がすでに高い制限で有効になっている場合は適用されません。また、組織は1日あたり最大15個のメールアドレスに単一メールを送信できます。

- Visualforce メールテンプレートを使用して一括メール送信はできません。

Salesforce ナレッジの制限

エディション別の Salesforce ナレッジの制限です。

Salesforce ナレッジは、コンテンツを作成および管理するための知識ベースです。カスタマーポータルまたはパートナーポータルで Salesforce ナレッジが有効になっている場合、顧客およびパートナーは記事にアクセスできます。

Salesforce ナレッジの制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
最大記事数	なし	なし	なし	なし	50,000 個の記事		
最大記事タイプ	なし	なし	なし	なし	100 個の記事タイプ		
記事タイプあたりの最大カスタム項目数	なし	なし	なし	なし	Enterprise Edition、Developer Edition、および Unlimited Edition: 記事タイプあたり 500 個のカスタム項目 Performance Edition: 記事タイプあたり 800 個のカスタム項目		
最大ファイル項目	なし	なし	なし	なし	5 個のファイル項目		
最大ファイル項目サイズ	なし	なし	なし	なし	ファイル項目は添付ファイルとしてカウントされます。最大 25 MB です。		
最大リッチテキストエリアサイズ	なし	なし	なし	なし	131072 文字		
記事のすべてのリッチテキストエリア項目の合計サイズ	なし	なし	なし	なし	1638400 文字		
リッチテキストエリア項目での一意の最大記事参照 (リンク) 数	なし	なし	なし	なし	1つのリッチテキスト項目で、異なる Salesforce ナレッジ記事に最大 100 個のリンクを設定できます。		
記事履歴の追跡	なし	なし	なし	なし	記事イベントは、18 か月まで追跡されます。		

Salesforce ナレッジの制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
最大サポート言語数	なし	なし	なし	なし	なし	16 個のサポート言語	
記事のインポート	なし	なし	なし	なし	なし	<p>インポート .zip ファイルは次の要件を満たす必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • .csv ファイルと .properties ファイルをそれぞれ 1 つのみ含むことができる。 • .csv ファイルと .properties ファイルがルートディレクトリに配置されている必要がある。 • 圧縮プロセスでフォルダとサブフォルダの構造を維持する必要がある。 • .zip ファイル名に特殊文字は使用できない。 • .zip ファイルが 10 MB を超えていないこと。非圧縮ファイルが 100 MB を超えていないこと。 • ヘッダー行を含め .csv ファイルに 10,000 を超える行を含めることはできません。したがって、最大 9,999 個の記事と翻訳を含めることができます。 • .csv ファイルの行が 400,000 文字を超えることはできません。 • .csv ファイルのセルが 32 KB を超えることはできません。 • .csv ファイルの各記事に 50 以上の翻訳を含めることはできません。 	
最大データカテゴリグループ数および有効なデータカテゴリグループ	なし	なし	なし	なし	なし	カテゴリグループ 5 つおよびアクティブなカテゴリグループ 3 つ	

Salesforce ナレッジの制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
データカテゴリグループあたりの最大カテゴリ数	なし	なし	なし	なし	なし	データカテゴリグループに100個のカテゴリ	
データカテゴリグループ階層あたりの最大レベル数	なし	なし	なし	なし	なし	データカテゴリグループ階層に5個のレベル	
記事に割り当てられたデータカテゴリグループの最大データカテゴリ数	なし	なし	なし	なし	なし	記事に割り当てられたデータカテゴリグループの8個のデータカテゴリ	
昇格済み検索語の最大数	なし	なし	なし	なし	なし	組織で最大2,000個の昇格済み用語を作成できます。	

項目の制限

暗号化項目、差し込み項目、数式項目の制限です。

暗号化項目の制限

 **メモ:** この情報は、従来の暗号化には適用され、プラットフォームの暗号化には適用されません。

暗号化項目には次の制限が適用されます。

- 暗号化項目は、リストビュー、レポート、積み上げ集計項目、およびルール条件などの条件に使用することはできません。
- メールテンプレートに暗号化項目を使用することはできますが、その値は「暗号化されたデータの参照」権限の有無に関係なく常にマスクされます。
- [Visualforce] ページでの暗号化項目の表示をサポートしているのは、<apex:outputField> コンポーネントのみです。

数式項目と差し込み項目の制限

差し込み項目を使用する場合、次のものは参照できません。

- 活動に関連するオブジェクトの差し込み項目。たとえば、取引先責任者と取引先の差し込み項目はToDoおよび行動の数式では使用できません。

- \$RecordType グローバル変数は数式を含むレコードのみを解決し、数式がまたがるレコードについては解決しません。Spring'13リリース以降では、新しい数式を作成する場合、\$RecordType グローバル変数はデフォルト値の数式でのみ使用できます。

入力規則では、次の差し込み項目を参照できません。

- [要求番号] などの自動採番項目
- 住所、姓名、連動選択リスト、連動ルックアップなどの複合項目
 - ☑ **メモ:** 入力規則では、[市区郡 (請求先)] など、個々の住所項目の差し込み項目は参照できません。
- 個々のキャンペーンおよびキャンペーン階層の統計などのキャンペーン統計項目

入力規則の数式は、次の項目を参照できません。

- 住所、姓名、連動選択リスト、連動ルックアップなどの複合項目
- 個々のキャンペーンおよびキャンペーン階層の統計などのキャンペーン統計項目
- 自動採番の差し込み項目または [町名・番地 (郵送先)] のような複合住所項目
 - ☑ **メモ:** [市区郡 (請求先)] などの個々の住所項目に対する差し込み項目は、入力規則数式でも使用できます。

リレーションシップグループメンバーの入力規則は作成できません。

ルックアップ検索条件の制限

ルックアップ検索条件は、参照項目、主従関係項目、階層関係項目の有効な値とルックアップダイアログ結果を制限するシステム管理者設定です。

ルックアップ検索条件には次の制限が適用されます。

- ルックアップ検索条件では次の項目種別を参照できません。
 - 活動のリレーション項目
 - [作成者] および [更新者] などの、常に参照のみのシステム項目
 - [ケース所有者] および [リード 所有者] などの、キューをサポートするリレーション項目
- 各オブジェクトは、必須なルックアップ検索条件を5個まで使用できます。省略可能な参照項目の数に制限はありません。オブジェクトの必須項目の上限に達した場合、代わりに省略可能な項目を作成し、ユーザ保存時に入力規則を使用してビジネスルールを適用します。
- 通貨項目でのルックアップ検索条件は、通貨を換算しません。たとえば、組織でマルチ通貨を使用してルックアップ検索条件が「期待収益 > 100000」の場合、通貨に関係なく、ルックアップには [期待収益] 項目の値が100,000より大きいすべてのレコードが表示されます。
- ルックアップ検索条件には、「今日」または「今月」などの、特殊な日付値は使用できません。
- 有効なルックアップ検索条件で参照される項目は削除できません。
- 有効なルックアップ検索条件で参照される項目のデータ型は変更できません。
- ルックアップ検索条件では、ソースオブジェクトの次の項目種別を参照できません。
 - 自動採番
 - 暗号化

- 数式
 - ロングテキストエリア
 - 複数選択リスト
 - 積み上げ集計
 - テキスト
 - テキストエリア
 - URL
- ルックアップオートコンプリートは、追加のドロップダウンリストでのユーザルックアップでは機能しません。これは主に、パートナーポータルまたはカスタマーポータルのいずれかを設定した組織のための機能です。
 - 拡張リストビューでは、連動ルックアップ検索条件で参照される項目を変更できません。
 - ルックアップ検索条件では、所有者の一括変更はサポートされていません。ルックアップ検索条件で「所有者」項目を参照している場合、所有者の一括変更を実行しても正しい値にはなりません。また、この不正な値はレコードを保存するまで検出されません。
 - ルックアップ検索条件でサポートされないグローバル差し込み項目を数式で参照している場合、ルックアップ検索条件は数式を参照できません。
 - 「取引先名」でのルックアップ検索条件は、法人取引先のみ適用されます。個人取引先には適用されません。たとえば、ルックアップ検索条件が「取引先名」 does not contain book の場合、John's Bookstore のように名前に「book」が含まれる法人取引先は無効ですが、JohnBookerのように名前に「book」が含まれる個人取引先は有効で、「取引先」項目のルックアップダイアログに表示されます。個人取引先の名前で絞り込む場合は、代わりに「名」または「姓」を使用します。
 - Salesforce では、リストビューのインライン編集は次の場合にサポートされません。
 - 連動ルックアップで参照されているソースオブジェクトの項目。
 - 連動ルックアップを含む項目。

リッチテキストエリア項目の制限

モバイルアプリケーションは、ロングテキストエリア項目のようなリッチテキストエリアを処理しますが、HTML 形式のコンテンツまたは画像はサポートしていません。モバイルアプリケーションは、1,000 文字でリッチテキストエリア項目を切り捨てます。これには HTML マークアップも含まれます。システム管理者は、モバイルページレイアウトからリッチテキストエリア項目を削除することを検討する必要があります。モバイルユーザが 1,000 文字を超える既存のエントリを含むリッチテキストエリア項目を編集する場合、モバイルアプリケーションは項目内のテキストを切り捨てます。

積み上げ集計項目の制限

積み上げ集計項目は、取引を開始したリードのリード項目の対応付けには使用できません。

ファイルとディスク使用制限

Salesforce Files、CRM コンテンツ、Chatter、ストレージ割り当ての制限です。

このセクションの内容:

[Salesforce Files Sync の制限](#)

ストレージ、ファイルサイズ、ファイルの同期の制限です。

[Salesforce CRM Content の制限](#)

エディション別の Salesforce CRM Content の制限です。

[Chatter のファイルの制限](#)

Chatter 投稿またはコメントへの添付ファイルの制限です。

[データストレージとファイルストレージの制限](#)

Salesforce エディションおよび組織内のユーザ数別のストレージ割り当ての制限です。

Salesforce Files Sync の制限

ストレージ、ファイルサイズ、ファイルの同期の制限です。

機能	制限
組織の共有ストレージ	ストレージは、購入した Salesforce ライセンス数に基づいています。追加ストレージを購入できます。詳細は、「 データストレージとファイルストレージの制限 」を参照してください。
同期済みファイルの最大数	ユーザは最大 10,000 個のファイルを同期できます。
同期済みフォルダの最大数	500 フォルダ
ファイルサイズ	<ul style="list-style-type: none"> Web インターフェースによるアップロード時: 2 GB Salesforce Files Sync デスクトップクライアントによるアップロード時: 2 GB (またはプロキシ使用時は 500 MB) モバイルデバイスによるアップロード時: 100 MB
ファイルあたりのバージョンの最大数	2,048
同じファイルを同時に同期できるユーザの最大数	1,000 ユーザ
Connect API コールの最大数	Salesforce Files Sync デスクトップクライアントからの接続アプリケーションごとに 1 ユーザにつき 1 時間あたり 10,000 件

Salesforce CRM Content の制限

エディション別の Salesforce CRM Content の制限です。

Salesforce CRM Content には、Microsoft® PowerPoint プレゼンテーションから、オーディオファイル、動画ファイル、Web ページ、および Google® ドキュメントまで、あらゆる種類のファイルを含めることができます。次の表に、エディション別の Salesforce CRM Content の制限を示します。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
コンテンツ配信:直近24時間あたりのデフォルトの配信帯域幅	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB	10 GB
コンテンツ配信:直近24時間あたりのデフォルトの配信参照カウント	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
コンテンツ配信:オンライン参照の最大ファイルサイズ	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB	25 MB
コンテンツ:最大ファイルサイズ	すべてのエディション: <ul style="list-style-type: none"> • 2 GB • Chatter REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) • REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) • SOAP API によるアップロード時: 38 MB • Google ドキュメント: 10 MB • Visualforce によるアップロード時: 10 MB 						
コンテンツ:最大ライブラリ数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
コンテンツ:最大コンテンツドキュメント数	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
コンテンツ:24時間あたりのコンテンツドキュメントおよびバージョンの最大数 (調整可能)	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	2,500
コンテンツパック:最大ファイル数	なし	50	50	50	50	50	50
ドキュメント:カスタムアプリケーションロゴの最大サイズ	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB	20 KB
ドキュメント:アップロードするドキュメントの最大サイズ	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB	5 MB

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
ドキュメント:ファイル名の最大長(ファイル拡張子名を含む)	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字	255 文字

Salesforce CRM Content 検索の制限

検索では、複数のファイルの種類がサポートされ、ファイルサイズに制限があります。ファイルが最大サイズを超える場合、そのファイル内のテキストは検索されませんが、ファイルの著者名、タグ、ファイル拡張子、およびカスタム項目は検索されます。

ファイルの種類	ファイル拡張子	ファイル内のテキストを検索可能にする場合の最大ファイルサイズ
HTML	.htm、.html、.xhtml	5 MB
PDF	.pdf	25 MB
PPT	.ppt、.pptx、.pptm	25 MB
RTF	.rtf	5 MB
Text	.c .cpp .css .csx .ini .java .log .sql .txt	5 MB
Word	.doc、.docx、.docm	25 MB
XLS	.xls、.xlsx、.xlsm	5 MB
XML	.xml	5 MB

関連トピック:

[ドキュメントの検索の制限](#)

[Chatter のファイル検索の制限](#)

Chatter のファイルの制限

Chatter 投稿またはコメントへの添付ファイルの制限です。

ファイル共有の制限

ファイルは最大100回まで共有できます。これには、人およびグループと共有するファイル、およびリンクで共有するファイルが含まれます。ファイルの非公開での共有が最大共有回数の100に近くなった場合は、ファイルをフィードに投稿して公開することを検討します。

ファイルサイズの制限

Salesforce のファイルの最大ファイルサイズ制限は次のとおりです。

機能	[ファイル]タブと Chatter	Salesforce CRM Content	Salesforce ナレッジ	[ドキュメント]タブ	[添付ファイル]関連リスト
最大ファイルサイズ	2 GB	<ul style="list-style-type: none"> 2 GB Chatter REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) SOAP API によるアップロード時: 38 MB Google ドキュメント: 10 MB Visualforce によるアップロード時: 10 MB 	添付ファイル: 5 MB	<ul style="list-style-type: none"> 5 MB カスタムアップリケーションロゴ: 20 KB 	<ul style="list-style-type: none"> 添付ファイル: 25 MB フィードの添付ファイル: 2 GB

データストレージとファイルストレージの制限

Salesforce エディションおよび組織内のユーザ数別のストレージ割り当ての制限です。

ストレージ容量

ストレージは、ファイルストレージとデータストレージの2つに分類されます。ファイルストレージには、添付ファイル、[ドキュメント]タブ、[ファイル]タブ、[ファイル]項目、Salesforce CRM Content、Chatter ファイル (ユーザの写真を含む)、および Site.com のアセット内のファイルが含まれます。データストレージには、次の情報が含まれます。

- 取引先
- 記事タイプ (形式: 「記事タイプ名」)
- 記事タイプ翻訳 (形式: 「記事タイプ名」バージョン)
- キャンペーン
- キャンペーンメンバー
- ケース
- ケースチーム

- 取引先責任者
- 契約
- カスタムオブジェクト
- メールメッセージ
- 行動
- 予測項目
- Google ドキュメント
- アイデア
- リード
- メモ
- 商談
- 商談分割
- 注文
- 見積
- 見積テンプレートのリッチテキストデータ
- ソリューション
- タグ: 固有タグ
- ToDo


ファイルストレージの場合、Contact Manager Edition、Group Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、Performance Edition、および Unlimited Edition では、ユーザあたりの制限に組織のユーザ数を掛けて、組織単位の割り当てを追加したストレージ容量が割り当てられます。たとえば、600人のユーザがいる Enterprise Edition 組織の場合は、ユーザあたりのストレージ容量 2 GB x ユーザ数 600 + 11 GB = 1,211 GB のファイルストレージが割り当てられることになります。600人のユーザがいる Professional Edition 組織の場合は、ユーザあたりのストレージ容量 612 MB x ユーザ数 600 + 11 GB = 370 GB のファイルストレージが割り当てられることになります。

データストレージの場合、Contact Manager Edition、Group Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition では、ユーザあたりの制限または 1 GB のいずれか大きい方が割り当てられます。たとえば、10人のユーザがいる Professional Edition 組織の場合は、ユーザ数 10 x 20 MB = 200 MB は最小量 1 GB よりも少ないため、1 GB が割り当てられます。100人のユーザがいる Professional Edition 組織の場合は、ユーザ数 100 x 20 MB = 2,000 MB であるため、最小量 1 GB よりも多くの容量が割り当てられます。

ファイルストレージとデータストレージは同時に計算されないため、大量のレコードやファイルをインポートまたは追加する場合、組織のディスク使用量はすぐには更新されません。

以下の [ユーザライセンスあたりのストレージ割り当て] 列の値が Salesforce と Salesforce Platform ユーザライセンスに適用されます。コミュニティユーザライセンスなど、他の標準ユーザライセンスには、追加ストレージが含まれます。ユーザライセンスについての説明は、「ユーザライセンスの概要」を参照してください。カスタムユーザライセンスを使用している組織の場合、追加ストレージが提供されるかどうかについては、Salesforce までお問い合わせください。

Salesforce のエディション	組織あたりの最小データストレージ	ユーザライセンスあたりのデータストレージ割り当て	組織あたりのファイルストレージ割り当て	ユーザライセンスあたりのファイルストレージ割り当て
Contact Manager	1 GB	20 MB	11 GB	612 MB
Group	1 GB	20 MB	11 GB	612 MB
Professional	1 GB	20 MB	11 GB	612 MB
Enterprise	1 GB	20 MB	11 GB	2 GB
Performance	1 GB	120 MB	11 GB	2 GB
Unlimited	1 GB	120 MB	11 GB	2 GB
Developer	5 MB	なし	20 MB	なし
Personal	20 MB (約 10,000 レコード)	なし	20 MB	なし

 **メモ:** 追加ストレージを提供している唯一の機能ライセンスは、Salesforce CRM Content ユーザです。Salesforce CRM Content が有効であるかどうかにかかわらず、各 Salesforce CRM Content ユーザライセンスに追加のファイルストレージ 512 MB が割り当てられ、ユーザあたりのファイルストレージの割り当ての合計は 612 MB になります。組織で Salesforce CRM Content が有効であるかどうかを確認するには、システム管理者にお問い合わせください。

Force.com サイトのページビューの制限

ページビューとしてカウントされる要求の制限です。

次の要求はページビューとしてカウントされます。

要求内容	URL の例
Force.com ドメイン	<code>http://mycompany.force.com</code>
カスタム Web アドレス	<code>http://mycompany.com</code>
サイトと関連付けられている任意のページ	<code>http://mycompany.force.com/mypage</code>
[認証が必要] エラーページ	<code>http://mycompany.force.com/Unauthorized</code>
JavaScript Remoting などの AJAX 要求 (例: <code>RemoteAction<apexactionFunction><apexactionPoller></code>)	なし

次の要求はページビューとしてカウントされません。

要求内容	URL の例
Salesforce 画像	http://mycompany.force.com/img/force_logo_w09.gif
静的リソース	http://mycompany.force.com/resource/1233771498000/background
Robots.txt	http://mycompany.force.com/robots.txt
お気に入りアイコン	http://mycompany.force.com/favicon.ico
添付ファイルとドキュメント	なし
[制限数を超過しました] や [メンテナンス] など、[認証が必要] 以外のエラーページ	http://mycompany.force.com/BandwidthExceeded
HTML 項目に含まれる画像	http://mycompany.force.com/servlet/rtaImage
カスタムファイル項目	http://mycompany.force.com/servlet/fileField

[制限数を超過しました]、[メンテナンス]、[ページが見つかりません]、および [無効なホーム] と指定されたページは、ページビューの制限および帯域幅の制限にはカウントされません。静的リソースを使用して、これらのページにブランド情報を表示できますが、次の制限が適用されます。

- 静的リソースは、サイズが 50 KB 以内であること。
- 静的リソースは、スタイルシート (CSS)、画像ファイル、または JavaScript ファイルであること。
- これらのページには、Apex コントローラは使用できない。
- これらのページから SOQL 操作や DML 操作は実行できない。

Force.com サイトの請求の制限

Force.com サイトに関連する制限および請求に使用される用語です。

次の用語は、Force.com サイトの制限および請求に使用されます。

- 「ページビュー」は、サイトの発信元サーバまたはキャッシュサーバのいずれかから発信されたページ数として算出されます。
- 「帯域幅」は、サイトの発信元サーバおよびキャッシュサーバの両方から発信および受信されたメガバイト数 (MB) として算出されます。
- 「サービス要求時間」は、サイトのページ生成に必要なサーバ時間の合計 (単位: 分) として計算されます。
- 「直近 24 時間」は、現在の時刻の直前の 24 時間を示します。
- 「発信元サーバ」は、サイトをホストする Web サーバを示します。
- 「キャッシュサーバ」は、キャッシュされたサイトページを発信する CDN サーバを示します。
- 「現在の期間」は、組織で特定のページビュー数を利用できる現在のカレンダー月を示します。

Salesforce では、次の制限が Force.com サイトの月間ページビューに適用されます。

- 請求情報は、組織が購入した月間ページビューの数に基づきます。このページビュー制限は、組織の全サイトで累積されています。

- 組織が月間ページビュー制限の110%に達した場合、サイト管理者と請求管理者にメール通知が送信されません。
- 組織で4か月連続してページビュー制限の110%を超えた場合、次のカレンダー月が始まるまで、またはページビューを追加購入するまで、サイトが無効になります。また、メール通知がサイト管理者および請求管理者、そして関連するアカウントエグゼクティブに送信されます。
- 指定されたカレンダー月で、組織がページビュー制限の300%に達した場合、次のカレンダー月が始まるまで、またはページビューを追加購入するまで、サイトが無効になります。また、メール通知がサイト管理者および請求管理者、そして関連するアカウントエグゼクティブに送信されます。

Sandbox と Sandbox ストレージの全般的な制限

Sandbox 環境の制限です。

Sandbox は別の環境にある組織のコピーであり、テストやトレーニングなどさまざまな目的に使用できます。Sandbox は Salesforce 本番組織から完全に独立しているため、Sandbox で実行する操作が Salesforce 本番組織に影響することはありません。

Sandbox には次の制限が適用されます。

- Full Sandbox は、作成または最終更新から 29 日経過すると更新できます。29 日以内に Full Sandbox を削除した場合、置き換えるまでに、最終更新日または作成日から 29 日間待機する必要があります。
- Partial Copy Sandbox は、作成または最終更新から 5 日経過すると更新できます。5 日以内に Partial Copy Sandbox を削除した場合、置き換えるまでに、最終更新日または作成日から 5 日間待機する必要があります。
- Developer または Developer Pro Sandbox は、1 日に 1 回更新できます。
- Enterprise Edition には、1 つの Developer Sandbox のライセンスが含まれています。
- Performance Edition には、1 つの Full Sandbox、1 つの Partial Copy Sandbox、5 つの Developer Pro Sandbox、30 個の Developer Sandbox のライセンスが含まれています。
- Unlimited Edition には、1 つの Full Sandbox、5 つの Developer Pro Sandbox、15 個の Developer Sandbox のライセンスが含まれています。
- さらに多くの Sandbox のライセンスが必要な場合は、salesforce.com に連絡して、組織で使用する Sandbox を注文してください。

Sandbox ストレージには次の制限が適用されます。

- Partial Copy Sandbox には、5 GB のファイルストレージ制限と 5 GB のデータストレージ制限があります。
- Developer Pro Sandbox には、1 GB のファイルストレージ制限と 1 GB のデータストレージ制限があります。
- Developer Sandbox には、200 MB のファイルストレージ制限と 200 MB のデータストレージ制限があります。
- Full Sandbox のディスク使用制限は、本番組織の制限と同じです。
- Sandbox は、ディスク使用制限に達してもメール通知を送信しません。ただし、Sandbox のディスク使用制限に達すると、Sandbox に新しいデータを保存することはできません。ディスク使用制限を確認するには、[設定] から [クイック検索] ボックスに「組織のディスク使用量」と入力し、Sandbox の [組織のディスク使用量] を選択します。

組織の共有設定の制限

組織の共有設定でのオブジェクトの制限です。

システム管理者は組織の共有設定を使用して、組織のデフォルト共有設定を定義できます。

一部のオブジェクトでは、組織の共有設定を変更できません。

- サービス契約は、常に非公開です。
- ユーザプロビジョニング要求は、常に非公開です。
- ドキュメント、レポート、またはダッシュボードを参照または編集できるかどうかは、そのドキュメントが保存されているフォルダに対するユーザのアクセス権に基づきます。
- 売上予測共有が有効でない場合、自分より下位のロール階層にあるユーザの売上予測のみ参照できます。
- カスタムオブジェクトが、標準オブジェクトとの主従関係の従側にある場合は、組織の共有設定は [親レコードに連動] に設定されており、これを編集することはできません。
- Apex コードがカスタムオブジェクトに関連付けられている共有エントリを使用している場合は、そのカスタムオブジェクトに対する組織の共有設定を非公開から公開には変更できません。たとえば、Apex コードで (コードでは `Invoice__share` として表される) カスタムオブジェクト `Invoice__c` に対する共有アクセス権を持つユーザとグループを取得した場合、そのオブジェクトの組織の共有設定を非公開から公開に変更することはできません。

関連トピック:

[パスワードポリシーの制限](#)

パートナーポータルの制限

パートナーポータルでの制限です。

パートナーポータルの最大数

組織で最大5個のパートナーポータルを作成できます。この数を増やすには、製品マネージャの承認が必要となり、詳細な使用事例が求められます。

ポータルロールの最大数

組織のポータルロールの最大数は5000です。この制限には、組織のすべてのカスタマーポータル、パートナーポータル、またはコミュニティに関連付けられたポータルロールが含まれます。この数が不必要に増加しないように、各ポータルおよびコミュニティのロール数を確認して削減することをお勧めします。また、使用していないポータルロールも削除するようにしてください。さらに多くのポータルロールが必要な場合は、Salesforce カスタマーサポートまでご連絡ください。

パスワードポリシーの制限



ユーザパスワードの数値と使用の制限です。

パスワードおよびログインのさまざまなポリシーを設定して、組織のセキュリティを確保できます。

 **メモ:** ユーザパスワードは 16,000 バイトを超えてはいけません。

ログイン数は 1 ユーザにつき 1 時間あたり 3,600 に制限されます。この制限は、Summer '08 後に作成された組織に適用されます。

項目	説明
パスワードの有効期間	すべてのユーザパスワードが失効し、変更する必要があるまでの期間。この設定は、「パスワード無期限」権限を持つユーザには適用されません。デフォルトは 90 日です。この設定は、セルフサービスポータルでは使用できません。
過去のパスワードの利用制限回数	ユーザの過去のパスワードを保存して、新しく設定されるパスワードが固有のパスワードになるようにします。パスワード履歴は、この値を設定しない限り保存されません。デフォルトは [3 回前のパスワードまで使用不可] です。[パスワードの有効期間] 項目に [無期限] を選択した場合を除き、[制限なし] を選択できません。この設定は、セルフサービスポータルでは使用できません。
最小パスワード長	パスワードに必要な最小限の文字数。この値を設定しても、既存のユーザのパスワードには影響しません。次のパスワードの変更時に適用されます。デフォルトは [8 文字以上] です。
パスワード文字列の制限	ユーザのパスワードとして使用できる文字の種別の要件。 複雑性レベル: <ul style="list-style-type: none"> 制限なし — 任意のパスワード値を許可します。最も安全性の低いオプションです。 英・数字両方含める — 少なくとも 1 つの英字と 1 つの数字を使用する必要があります (デフォルト)。 英字、数字、および特殊文字を組み合わせて使用する必要があります — 少なくとも 1 つの英字、1 つの数字、および ! # \$ % - _ = + < > のうちの 1 文字を含む必要があります。 数字、大文字および小文字をすべて含める — 少なくとも 1 つの数字、1 つの英大文字、および 1 つの英小文字を使用する必要があります。 数字、大文字、小文字、および特殊文字をすべて含める — 少なくとも 1 つの数字、1 つの英大文字、1 つの英小文字、および ! # \$ % - _ = + < > のうちの 1 文字を含む必要があります。

項目	説明
パスワード質問の制限	<p>値は、パスワードヒントの質問に対する回答にパスワードそのものを含めることはできないことを意味する [パスワードを含めないこと]、またはデフォルトの [なし] です。回答に制限はありません。パスワードヒントの質問に対するユーザの回答は必須です。この設定は、セルフサービスポータル、カスタマーポータル、またはパートナーポータルでは使用できません。</p>
ログイン失敗によりロックするまでの回数	<p>ログイン失敗が許される回数。この回数を超えると、そのユーザはロックアウトされ、ログインできなくなります。この設定は、セルフサービスポータルでは使用できません。</p>
ロックアウトの有効期間	<p>ロックアウトが解除されるまでの所要時間。デフォルトは 15 分です。この設定は、セルフサービスポータルでは使用できません。</p> <p> メモ: ユーザがロックアウトされた場合、そのユーザはロックアウト期間の期限が切れるまで待機する必要があります。または、「ユーザパスワードのリセットおよびユーザのロック解除」権限を持つユーザが、[設定] から [クイック検索] ボックスに「ユーザ」と入力して、[ユーザ] を選択し、ユーザを選択してから、[ロック解除] をクリックすることで、ロックを解除できます。このボタンは、ユーザがロックアウトされている場合にのみ表示されます。</p>
パスワードのリセットの秘密の回答を非表示にする	<p>この機能により、セキュリティの質問に対する回答を、入力と同時に非表示にします。デフォルトでは、回答がプレーンテキストで表示されます。</p> <p> メモ: 入力モードがひらがなに設定された Microsoft Input Method Editor (IME) を組織で使用している場合、通常のテキスト項目で ASCII 文字を入力すると、日本語文字に変換されます。ただし、IME は伏せ字のテキストを含む項目では適切に動作しません。この機能を有効にした後で組織のユーザがパスワードまたはその他の値を正しく入力できない場合は、機能を無効にしてください。</p>

項目	説明
パスワードの有効期限は 1 日以上にする必要があります	このオプションを選択すると、パスワードを 24 時間以内に複数回変更できなくなります。

関連トピック:

[組織の共有設定の制限](#)

Salesforce コンソールの制限

Salesforce コンソールの使用での全般的な制限です。

Salesforce コンソールは、レコードをすばやく検索、更新、作成するためのアプリケーションです。

最高のパフォーマンスを得るために、Salesforce コンソールで Live Agent を使用するときには、Internet Explorer 8、9、10、あるいは最新の安定したバージョンの Firefox または Google Chrome を使用することをお勧めします。Salesforce コンソールには次の制限が適用されます。

- Salesforce コンソールアプリケーションにログインしている間に、他の Salesforce アプリケーションにログインすると、新規チャット要求を受け入れることができません。
- Chatter アンサーでは、システム管理者は、顧客が「支援が必要ですか?」をクリックしたときに使用できる FAQ (よくある質問) をカスタマイズすることはできません。
- https:// を含まない URL を使用してカスタマイズすると、Internet Explorer 8 ユーザにはセキュリティの警告が表示されます。

サイトのエディションの制限

エディション別の、サイト数、帯域幅、サービス要求時間、最大ページビューの制限です。

Site.com は、データ主導の動的な Web ページを作成および管理し、コンテンツの編集をリアルタイムで行う Web コンテンツ管理システム (CMS) です。

次の表に、異なる Salesforce エディションでのサイトの制限を示します。

エディション	最大サイト数	帯域幅制限 (直近の 24 時間/サイトあたり)	サービス要求時間 (直近の 24 時間/サイトあたり)	最大ページビュー
Developer Edition	1	500 MB	10 分	なし
Enterprise Edition	25	Sandbox 1 GB 本番 40 GB	Sandbox 30 分 本番 60 時間	500,000

エディション	最大サイト数	帯域幅制限 (直近の 24 時間/サイトあたり)	サービス要求時間 (直近の 24 時間/サイトあたり)	最大ページビュー
Unlimited Edition	25	Sandbox 1 GB	Sandbox 30 分	1,000,000
Performance Edition		本番 40 GB	本番 60 時間	

関連トピック:

[Site.com のインポートの制限](#)

[Force.com サイトのページビューの制限](#)

[Force.com サイトの請求の制限](#)

Site.com のインポートの制限

サイトおよびファイルのインポートの制限です。

インポートできるサイトの最大サイズは 2 GB です。zip ファイルをインポートして解凍しない場合、インポートできる最大ファイルサイズは 50 MB です。zip ファイルを使用する場合、インポート処理中に [ファイルを解凍] を選択すると、最大 200 MB の zip ファイルをインポートできます。

Web 要求の制限

Web 要求の同時使用の制限です。

Salesforce のすべてのユーザに対してリソースを確保できるように、1つの組織で同時に送信できる長時間の処理を要する Web 要求数に制限が適用されます。Salesforce では、組織にログインしているすべてのユーザが同時に発行する要求数を監視し、その数を最大制限と比較します。こうすることで、同時要求数を最大制限未満に保つことができます。この制限によって、リソースがすべての組織で均等に使用され、1つの組織による過剰使用を回避します。

組織内のユーザが発行する要求数が多い場合、他のいずれかの要求が終了するまで自分の処理の実行を待つ必要があります。たとえば、自分の組織に 100,000 人のユーザがいるとします。各ユーザは、9:00 AM に 200,000 件のレコードを含むレポートを要求します。この場合、Salesforce は、同時要求が最大数に達するまで全ユーザのレポートを実行します。最大数に達した時点で、Salesforce では一部のレポート処理が完了するまで追加要求は却下されます。

同様の制限が API から発行される要求にも適用されます。

コラボレーションの制限

このセクションの内容:

[Chatter での承認の制限](#)

代理承認者、承認投稿、およびサイトまたはポータルユーザの承認の制限です。

Chatter Plus の制限

Chatter Plus (Chatter Only と呼ばれる) の機能の制限です。

フィード追跡の制限

オブジェクト、項目、およびトピックの追跡に関する制限です。

Chatter の全般的な制限

エディション、ブラウザ制限、メンションの制限による Chatter 機能の制限です。

フィードでのリストビューの制限

レコードフィードでのリストビューの制限です。

Chatter のファイル検索の制限

Chatter でのファイルの種類およびファイルサイズによる検索の制限です。

Chatter でのユーザ共有の制限

Salesforce システム管理者は、内部ユーザまたは外部ユーザを組織内の別のユーザから表示または非表示にするようにユーザ共有を設定できます。

Chatter での承認の制限

代理承認者、承認投稿、およびサイトまたはポータルユーザの承認の制限です。

- [Chatter での承認] は代理承認者またはキューをサポートしていません。
- 投稿からの承認申請を取り消したり、再割り当てしたりすることはできません。両方を承認レコードから実行する必要があります。
- 承認投稿は Salesforce の画面からは削除できません。この投稿は API を使用して削除のみできます。
- サイトまたはポータルユーザからの承認申請はサポートされません。

Chatter Plus の制限

Chatter Plus (Chatter Only と呼ばれる) の機能の制限です。

Chatter Plus (Chatter Only と呼ばれる) は、Salesforce ライセンスは所有していないが、Chatter の他に一部の Salesforce オブジェクトにアクセスする必要がある Performance Edition、Unlimited Edition、Enterprise Edition、および Professional Edition のユーザを対象にしています。

Chatter ユーザは、Chatter の標準のユーザ、プロフィール、グループ、およびファイルにアクセスでき、さらに次の操作を行えます。

- Salesforce の取引先と取引先責任者を参照する
- Salesforce CRM Content、アイデア、およびアンサーを使用する
- ダッシュボードとレポートにアクセスする
- ワークフローを使用し、承認する
- カレンダーを使用して活動を作成および追跡する
- 最大 10 個のカスタムオブジェクトを表示および変更する
- レコードをグループに追加する

- 📌 **メモ:** Chatter 限定ユーザプロフィールでアクセス可能な標準 Salesforce オブジェクトのタブは、これらのユーザに対してデフォルトで非表示になっているため、タブを表示する必要があります。

Professional Edition の組織は、これらを実行するために [プロフィール] を有効にしておく必要があります。詳細は、Salesforce の担当者にお問い合わせください。

Chatter Plus 機能	制限
組織の Chatter Plus ライセンス	制限なし
Chatter Plus ユーザあたりのデータストレージ	20 MB
Chatter Plus ユーザあたりのファイルストレージ (Professional Edition)	612 MB
Chatter Plus ユーザあたりのファイルストレージ (Enterprise Edition、Performance Edition、および Unlimited Edition)	2 GB

フィード追跡の制限

オブジェクト、項目、およびトピックの追跡に関する制限です。

- 個人取引先でフィード追跡が有効になっている場合、ユーザは、取引先責任者項目ではなく、取引先項目をフォローして更新を表示できます。
- 行動のフィード追跡には、要請済みミーティングは含まれません。要請済みミーティングを確認して、行動になってから、フィードに含めることができます。
- ユーザは Chatter フィードで活動またはナレッジ記事をフォローできますが、活動およびナレッジ記事のリストビューの [アクション] 列にある **+** [フォロー] ボタンは使用できません。
- トピックのフィード追跡を無効にすると、ユーザは新しいトピックをフォローできなくなりますが、フィード追跡が有効だったときにフォローしていたトピックは引き続きフォローできます。このようなトピックは、フォローできるユーザ、トピックおよびレコードの最大数に対してカウントされます。フィード追跡が無効になった後でトピックのフォローを停止するには、Chatter REST API を使用します。

エディション

使用可能なエディション:

外部オブジェクトに関するフィード追跡の制限

- 項目履歴管理は、外部オブジェクトでは使用できません。
- 外部システムからテーブル行が削除されても、その外部オブジェクトレコードのレコードフィードは削除されません。
- レコードフィードは、データ量の非常に多い外部データソースに対応付けられている Lightning Connect 外部オブジェクトには使用できません。

Chatter の全般的な制限

エディション、ブラウザ制限、メンションの制限による Chatter 機能の制限です。

機能ごとの Chatter の制限

これらの制限は変更される場合があります。詳細は、Salesforce にお問い合わせください。

機能	制限
グループ	
ユーザが参加可能なグループ	100 ¹ アーカイブ済みグループは、この制限にカウントされません。
組織内のグループ	10,000 アーカイブ済みグループは、この制限にカウントされません。
グループのメンバー	制限なし
グループの情報項目の文字数	4000
メールでグループに投稿する場合のメールの最大サイズ(テキストと添付ファイルを含む)	25 MB
メールでグループに投稿する場合に含めることのできる添付ファイル数	25
フィード	
1つの投稿またはコメント内のメンション	25
メンション検索文字列の文字数	ユーザの姓と名(合計)またはグループ名は 500 文字
1つの投稿またはコメント内の文字数	10,000
投稿に対していいね!と言ったか、コメントした後に送信されるメール通知の件数	10
ブックマーク	制限なし
お気に入り	50
フォローできる人、トピック、およびレコード	500 ²
任意の時点でフィードに表示できる投稿の最大数	500件の最新の投稿。この制限は、プロフィール、グループ、レコードフィードには適用されません。
ファイル	
ファイル添付サイズ	2 GB
ファイルを共有できる回数	100

機能	制限
人とプロフィール	
プロフィール写真のサイズ	8 MB
チャットに追加できるユーザ数	10
チャットの[私のお気に入り]に追加できるユーザ数	100
Chatter メッセージの文字数	10,000
スキル	
ユーザに割り当てられるスキル数	100
スキル名の文字数	99
トピック	
1つの投稿でのトピック数	10
単一レコードのトピック	100
トピック名の文字数	99

¹アーカイブ済みグループを除く、すべてのグループがこの制限にカウントされます。たとえば、100グループ（そのうち10グループはアーカイブ済み）のメンバーになっている場合、さらに10グループに参加できます。

²合計で最大500の人、トピック、およびレコードをフォローできます。自分が何件の項目をフォローしているかを確認するには、プロフィールの[フォローしている人]リストを表示します。

Chatterでのユーザによる投稿とコメントは、顧客の該当する組織がプロビジョニングされている間はずっと保持されます。salesforce.comは次の制限を適用する権利を有します。

- システムで生成されるフィード更新追跡数。現在追跡されているフィード更新のうち、46日以上前のもので、いいね!もコメントもない更新は、自動的に削除されます。そのフィード更新追跡はフィードに表示されなくなります。ただし、項目追跡の監査が有効な場合、その項目の監査履歴は引き続き使用できます。
- 1組織が1時間あたりに送信できるメール通知の数。

Chatter のブラウザ制限

一部のサードパーティ Web ブラウザプラグインと拡張は、Chatter の機能に干渉する可能性があります。Chatter が正常に機能しなかったり、整合性のない動作をする場合は、すべての Web ブラウザのプラグインと拡張を無効にしてから、もう一度試してみてください。

Chatter メンションの制限

アーカイブされたグループ、リストに記載しないグループ、顧客グループ、自分がメンバーではない非公開グループにはメンションできません。非公開グループのメンバーでないユーザが非公開グループの投稿またはコメントでメンションされると、メンションされたユーザに「すべてのデータの編集」権限がないかぎり、メン

ションは灰色のリンクで表示されます。この権限がある場合は、リンクが青色で表示されます。ただし、Salesforce セキュリティと共有ルールは引き続き適用されます。非公開グループのメンバーでないユーザには非公開グループへのアクセス権がなく、更新は表示されずそれに関する通知も行われません。

関連トピック:

[Chatter での承認の制限](#)

[Chatter Plus の制限](#)

[Chatter のファイルの制限](#)

[Chatter のファイル検索の制限](#)

フィードでのリストビューの制限

レコードフィードでのリストビューの制限です。

標準オブジェクトまたはカスタムオブジェクトのリストビューで  [Chatter] をクリックすると、リストビューに含まれるレコードの過去 30 日分の更新情報が Chatter フィードに表示されます。

次の制限がリストビューの Chatter フィードに適用されます。

- フィード追跡オブジェクトの中には、リストビューに関連付けられた Chatter フィードがないものもあります。現在、商談、取引先、ケース、リード、キャンペーン、取引先責任者、およびカスタムオブジェクトに関する Chatter フィードをリストビューに表示できます。
- リストビューでドラッグアンドドロップによるスケジュールが有効な場合、リストビューに取引先、取引先責任者、リードに関する Chatter フィードは表示されません。

Chatter のファイル検索の制限

Chatter でのファイルの種類およびファイルサイズによる検索の制限です。

検索では、複数のファイルの種類がサポートされ、ファイルサイズに制限があります。ファイルが最大サイズを超える場合、そのファイル内のテキストは検索されませんが、ファイルの名前、説明、種類、および所有者は検索されます。

ファイルの種類	ファイル拡張子	ファイル内のテキストを検索可能にする場合の最大ファイルサイズ
HTML	.htm、.html、.xhtml	5 MB
PDF	.pdf	25 MB
PPT	.ppt、.pptx、.pptm	25 MB
RTF	.rtf	5 MB
テキスト	.css、.css、.ini、.java、.log、.sql、.txt	5 MB
Word	.doc、.docx、.docm	25 MB
XLS	.xls、.xlsx、.xlsm	5 MB

ファイルの種類	ファイル拡張子	ファイル内のテキストを検索可能にする場合の最大ファイルサイズ
XML	.xml	5 MB

関連トピック:


[ドキュメントの検索の制限](#)

[Salesforce CRM Content の制限](#)

Chatter でのユーザ共有の制限

Salesforce システム管理者は、内部ユーザまたは外部ユーザを組織内の別のユーザから表示または非表示にするようにユーザ共有を設定できます。

Chatter では、共有されないユーザを引き続き表示し、互いにやりとりできるという例外があります。たとえば、Chatter 公開グループでは、ユーザ共有に関係なく、グループへのアクセス権を持つすべてのユーザは、すべての投稿や、投稿したユーザの名前を表示でき、投稿に対してコメントしたユーザにメンションすることができます。

 **例:** Mary と Bob が互いに表示されずやりとりできないようにユーザ共有を設定したとします。Mary は、Chatter 公開グループで投稿します。ユーザ共有により、Bob の名前はメンションドロップダウンリストに表示されないため、Mary は Bob にメンションできません。ただし、Bob は Mary の投稿を表示できるので、Mary の投稿にメンションします。これで、Mary の投稿に対する次のコメントで、Mary は Bob にメンションできるようになります。

コミュニティの制限

このセクションの内容:

[コミュニティの最大数の制限](#)

利用可能なコミュニティの数は、組織の購入数に基づきます。

[コミュニティサイトの制限](#)

コミュニティサイトには、ユーザに影響を与える制限がいくつかあります。次の制限は、非認証ユーザが Force.com サイトを使用して作成されたコミュニティページにアクセスした場合にのみ適用されます。

[コミュニティのユーザ制限](#)

コミュニティ種別に応じたユーザ制限です。

[ポータルロールの制限](#)

組織のポータルロールの制限です。

[コミュニティのグループメール制限](#)

一定のメンバー数を超えるグループのメール制限です。

[個人取引先コミュニティユーザの制限](#)

1 人のユーザが所有できる個人取引先外部ユーザの数の制限です。

Communities のレポートおよびダッシュボードの制限

コミュニティで [レポート] タブと [ダッシュボード] タブが公開されている場合、パートナーコミュニティライセンス、GoldPartner ライセンス、SilverPartner ライセンス、カスタマーコミュニティプラスライセンス、カスタマーポータルマネージャ標準ライセンス、およびカスタマーポータルマネージャカスタムライセンス (エンタープライズ管理ユーザ用) を持つ外部ユーザは、一部制限付きでレポートとダッシュボードにアクセスできます。

コミュニティモデレーションの制限

コミュニティモデレーションの制限により、コミュニティのパフォーマンスが最適化されます。

コミュニティの最大数の制限

利用可能なコミュニティの数は、組織の購入数に基づきます。

購入数を見つけるには、[設定] から [クイック検索] ボックスに「コミュニティ」と入力し、[すべてのコミュニティ] を選択します。[有効なコミュニティの最大数] 項目に、組織で設定可能な [有効] コミュニティと [プレビュー] コミュニティの合計数が表示されます。[無効] コミュニティは、合計数にカウントされません。

組織のコミュニティの数を増やしたい場合は、Salesforce のアカウントエグゼクティブにお問い合わせください。

コミュニティサイトの制限

コミュニティサイトには、ユーザに影響を与える制限がいくつかあります。次の制限は、非認証ユーザが Force.com サイトを使用して作成されたコミュニティページにアクセスした場合にのみ適用されます。

エディション	帯域幅制限 (直近の 24 時間/コミュニティあたり)	サービス要求時間 (直近の 24 時間/サイトあたり)	最大ページビュー
Developer Edition	500 MB	10 分	なし
Enterprise Edition	Sandbox 1 GB 本番 40 GB	Sandbox 30 分 本番 60 時間	500,000
Unlimited Edition	Sandbox 1 GB	Sandbox 30 分	1,000,000
Performance Edition	本番 40 GB	本番 60 時間	

帯域幅

コミュニティの発信元サーバとキャッシュサーバの両方から発信および受信されたメガバイト数 (MB)。発信元サーバは、コミュニティサイトをホストする Web サーバを示します。キャッシュサーバは、キャッシュされたコミュニティサイトページを発信する CDN サーバを示します。「直近 24 時間」は、現在の時刻の直前の 24 時間を示します。

サービス要求時間

コミュニティのページ生成に必要なサーバ時間の合計 (分単位)。

「直近 24 時間」は、現在の時刻の直前の 24 時間を示します。

ページビュー

非認証コミュニティユーザからの、コミュニティに関連付けられたページの読み込み要求。認証コミュニティユーザからの要求はページビューとしてカウントされません。

ページビューは、24時間の期間 (GMT) で集計されます。請求情報は、組織が購入した月間ページビューの数に基づきます。このページビュー制限は、組織の全サイトで累積されています。

- 📌 **メモ:** [制限数を超過しました]、[メンテナンス]、[ページが見つかりません]、および [無効なホーム] と指定されたページは、ページビューの制限および帯域幅の制限にはカウントされません。

コミュニティのユーザ制限

コミュニティ種別に応じたユーザ制限です。

リリースの問題およびサービス品質の低下を回避するため、コミュニティ内のユーザ数が以下の制限を超えないようにすることをお勧めします。この制限を超えるユーザを必要とする場合は、Salesforceのアカウントエグゼクティブにお問い合わせください。次の制限を超えると、追加料金および機能の低下が生じる可能性があります。

コミュニティ種別	ユーザ数
パートナーまたはカスタマーコミュニティプラス	300,000
カスタマー	7,000,000

ポータルロールの制限

組織のポータルロールの制限です。

組織のポータルロールの最大数は5000です。この制限には、組織のすべてのカスタマーポータル、パートナーポータル、またはコミュニティに関連付けられたポータルロールが含まれます。この数が不必要に増加しないように、各ポータルおよびコミュニティのロール数を確認して削減することをお勧めします。また、使用していないポータルロールも削除するようにしてください。さらに多くのポータルロールが必要な場合は、Salesforceカスタマーサポートまでご連絡ください。

コミュニティのグループメール制限

一定のメンバー数を超えるグループのメール制限です。

コミュニティでは、グループのメンバーが10,000人を超えると、[各投稿のメール] オプションが無効になります。このオプションを選択しているすべてのメンバーが、自動的に[毎日のダイジェスト]に切り替えられます。

個人取引先コミュニティユーザの制限

1人のユーザが所有できる個人取引先外部ユーザの数の制限です。

Salesforce ユーザは最大1000件の個人取引先ポータルユーザの所有者になることができます。これには、カスタマーコミュニティプラスライセンス、カスタマーポータルライセンス、およびロールベースのポータルライセンスを持つ個人取引先ユーザが含まれます。大規模カスタマーポータルやカスタマーコミュニティなど、大規模ポータルライセンスを持つ個人取引先ユーザは、この制限数の対象にはなりません。パートナーポータルライセンスまたはパートナーコミュニティライセンスを持つユーザは、個人取引先ユーザになり得ないため、この制限は適用されません。

Communities のレポートおよびダッシュボードの制限

コミュニティで[レポート]タブと[ダッシュボード]タブが公開されている場合、パートナーコミュニティライセンス、Gold Partner ライセンス、Silver Partner ライセンス、カスタマーコミュニティプラスライセンス、カスタマーポータルマネージャ標準ライセンス、およびカスタマーポータルマネージャカスタムライセンス(エンタープライズ管理ユーザ用)を持つ外部ユーザは、一部制限付きでレポートとダッシュボードにアクセスできます。

カスタマーコミュニティライセンス、大規模ポータルユーザライセンス、Service Cloud ポータルライセンス、認証 Web サイトライセンスを持つ外部ユーザに、ダッシュボードへのアクセス権はありません。

外部ユーザは次の操作を実行できません。

- レポートおよびダッシュボードをコピー、編集、または削除する
- レポートまたはダッシュボードで特定の日にメール送信および更新を行うようにスケジュールする
- ダッシュボードを更新して最新データを表示する(ただし、スーパーユーザアクセス権を持つ外部ユーザは可能)

スーパーユーザアクセス権を持つ外部ユーザ(「パートナースーパーユーザアクセス」権限を持つパートナーユーザと「ポータルスーパーユーザ」権限を持つカスタマーユーザ)は、次のことができます。

- 「指定したユーザとして実行」オプションで選択可能になる。
- アクセス権を持つダッシュボードを更新する。

スーパーユーザアクセス権を持つ外部ユーザは、「指定したユーザとして実行」および「ログインしたユーザとして実行」を使用して設定されたダッシュボードを、組織ごとに1日100回まで更新できます。スケジュール設定された自動更新は、この制限にカウントされません。内部ユーザに対しては、更新制限はありません。

初回更新後、データは24時間キャッシュされます。

外部ユーザがレポートを作成および編集できるようにするには、組織で拡張共有モデルを使用する必要があります。「[分析フォルダ共有](#)」を参照してください。

コミュニティモデレーションの制限

コミュニティモデレーションの制限により、コミュニティのパフォーマンスが最適化されます。

条件の制限

- 組織では、最大10個のキーワードリスト条件を設定できます。これは、コミュニティ単位ではなく組織単位の制限です。
- 各キーワードリストには、最大2,000個のキーワードを指定できます。

- キーワードとユーザが生成したコンテンツを照合するとき、大文字と小文字の違いと末尾の句読点は無視されます。たとえば、条件に「BadWord」が含まれている場合、ユーザが「BADWORD」または「badword.」と入力すると一致します。
- モデレーション条件の設定には API を使用できません。

キーワードの制限

- キーワードは 100 文字以下で、文字、数字、アンパサンド (&) のみを使用できます。
- ワイルドカード文字はサポートされていません。
- キーワードは、カンマまたは改行で区切ります。
- キーワードを追加するとき、一度に最大 32,000 文字をコピーして貼り付けることができます。

ルールの制限

- 組織では、最大 10 個のルールを設定できます。これは、コミュニティ単位ではなく組織単位の制限です。
- 各ルールには最大 3 つの条件を含めることができます。
- コンテンツをブロックするルールが最初に実行され、続いてコンテンツを置き換えるルール、コンテンツにフラグを設定するルールの順に実行されます。複数のルールが同じアクションを実行する場合、ルールは古い順に実行されます。
- モデレーションルールの設定には API を使用できません。

機能の制限

このセクションの内容:

活動の制限

ToDo および行動の動作に関する考慮事項です。

キャンペーンの制限

キャンペーン階層、取引先責任者、影響期間条件の制限です。

取引先責任者の制限

法人取引先に関連付けられた取引先責任者の制限です。

重複管理の制限

Data.com 重複管理には、重複ルール、一致ルール、および重複レコードセットの制限があります。

取引先およびレコードのインポートの制限

レコードタイプに応じたデータインポートの制限です。

個人取引先および法人取引先の制限

個人取引先および法人取引先の項目の制限です。

見積の制限

見積テンプレートおよび見積 PDF の制限です。

スケジュールの制限

組織が使用できるスケジュールタイプの制限です。

エンタープライズテリトリー管理の制限

エンタープライズテリトリー管理のモデル、テリトリー、および割り当てルールの制限。

ワークフローと承認の全般的な制限

ワークフロールールと承認プロセスに関する各エディションの制限です。

Visual Workflow の配布の制限

URL、Visualforce ページ、変更セット、またはパッケージを使用してフローをユーザに配布する場合は、次の制限を考慮してください。

地図およびロケーションサービスの制限

ユーザあたりのマップビューの制限です。

活動の制限

ToDo および行動の動作に関する考慮事項です。

このセクションの内容:

[行動所有者] 項目に行動主催者ではなく行動の招待者が含まれる場合

API で生成され、1 人以上の招待者が含まれるすべてのリストで、[割り当て先] に行動の所有者ではなく招待者が含まれます。

Shared Activities を使用しない場合は活動リレーションに基づくカスタムレポートが完全にはサポートされない

Shared Activities を有効にしていない場合、活動リレーションに基づくカスタムレポートには行動主催者と招待者が含まれず、また誰も招待されていない行動は表示されません。

[行動所有者] 項目に行動主催者ではなく行動の招待者が含まれる場合

API で生成され、1 人以上の招待者が含まれるすべてのリストで、[割り当て先] に行動の所有者ではなく招待者が含まれます。

Shared Activities を使用しない場合は活動リレーションに基づくカスタムレポートが完全にはサポートされない

Shared Activities を有効にしていない場合、活動リレーションに基づくカスタムレポートには行動主催者と招待者が含まれず、また誰も招待されていない行動は表示されません。

キャンペーンの制限

キャンペーン階層、取引先責任者、影響期間条件の制限です。

このセクションの内容:

キャンペーン階層の制限

キャンペーン階層は、関連するキャンペーンの健全度を分析およびレポートするのに役立ちます。参照関係を使用してキャンペーンを相互に関連付けることにより、特定のマーケティングプログラムやマーケティング活動でキャンペーンをグループ化できます。

キャンペーン影響期間条件の制限

キャンペーン影響期間条件は、影響のあるキャンペーンとみなされる最大日数を指定します。

取引先責任者またはリードのキャンペーンへの追加に関する制限

キャンペーンとは、ダイレクトメールプログラム、セミナー、印刷広告、メール、またはその他のマーケティング活動など、外部向けマーケティングプロジェクトです。

キャンペーン階層の制限

キャンペーン階層は、関連するキャンペーンの健全度を分析およびレポートするのに役立ちます。参照関係を使用してキャンペーンを相互に関連付けることにより、特定のマーケティングプログラムやマーケティング活動でキャンペーンをグループ化できます。

階層には、最大5レベルを含めることができます。各キャンペーンに対して設定できる親キャンペーンは1つだけですが、子キャンペーンの数は無制限です。

キャンペーン影響期間条件の制限

キャンペーン影響期間条件は、影響のあるキャンペーンとみなされる最大日数を指定します。

キャンペーン影響期間条件は、最大 9,999 日です。

取引先責任者またはリードのキャンペーンへの追加に関する制限

キャンペーンとは、ダイレクトメールプログラム、セミナー、印刷広告、メール、またはその他のマーケティング活動など、外部向けマーケティングプロジェクトです。

既存の顧客 (取引先責任者) または見込み客 (リード) をキャンペーンに追加する場合、次の制限が適用されません。

表 1: 取引先責任者の追加に関する制限

取引先責任者の追加元	最大レコード数
レポート	1 レポートにつき 50,000 件
csv 形式のファイル	1 インポートファイルにつき 50,000 件
リストビュー	1 リストページにつき 250 件
取引先責任者の詳細ページ	1

表 2: リードの追加に関する制限

リードの追加元	最大レコード数
レポート	1 レポートにつき 50,000 件
csv 形式のファイル	1 インポートファイルにつき 50,000 件
リストビュー	1 リストページにつき 250 件
取引先責任者の詳細ページ	1

取引先責任者の制限

法人取引先に関連付けられた取引先責任者の制限です。

取引先責任者は、Salesforce で追跡される法人取引先と関連付けられた人です。各取引先責任者には、電話番号、住所、役職、取引上の役割などのさまざまな情報が含まれます。

取引先責任者の削除に関する制限

次の項目に関連付けられている取引先責任者は、削除できません。

- ケース
- 契約
- サービス契約
- パートナーユーザ
- ケースに関連付けられている納入商品
- 有効なセルフサービスユーザ
- 有効なカスタマーポータルユーザ

取引先責任者の共有およびアクセスに関する制限

- 組織のデフォルトより低いアクセス権に制限することはできません。
- 行動に取引先責任者やリードを招集するには、少なくともその取引先責任者やリードに対する「参照」権限が必要です。行動にリソースを招集するには、少なくともそのリソースに対する「行動の追加」権限が必要です。
- 取引先に関連付けられていない取引先責任者は、組織の共有モデルに関係なく、常に非公開になります。参照できるのは、取引先責任者の所有者およびシステム管理者だけです。共有ルールとワークフロールールは、非公開の取引先責任者には適用されません。組織でディビジョンを使用している場合は、非公開の取引先責任者は常にグローバルディビジョンに属します。
- 与えられる側に取引先へのアクセス権がない場合、自分もその取引先を共有する権限を持っていない場合、取引先責任者を共有することはできません。
- テリトリー管理や個人取引先を持つ組織に対しては、取引先責任者の共有は無効です。

取引先責任者履歴の制限

- 取引先責任者の関連リストに対する変更は、取引先責任者履歴では追跡されません。

重複管理の制限

Data.com 重複管理には、重複ルール、一致ルール、および重複レコードセットの制限があります。

重複ルールの制限

- 重複ルールは、取引先、取引先責任者、リード、およびカスタムオブジェクトに使用できます。商談や個人取引先などの他のすべてのオブジェクトは、現在サポートされていません。
- 重複ルールは、次の場合には実行されません。
 - 簡易作成を使用してレコードを作成した場合
 - リードが取引先または取引先責任者に変換され、さらに組織に「Apex リード変換の使用」権限がない場合
 - [復元] ボタンを使用してレコードを復元した場合
 - Exchange Sync を使用してレコードを追加した場合
 - レコードを手動でマージした場合
 - セルフサービスユーザがレコードを作成し、User オブジェクトに基づく条件がルールに含まれている場合
- 場合によっては、重複の可能性の検出時にアラートを表示するように重複ルールが設定されていると、レコードの保存は常にブロックされ、重複の可能性のリストは表示されません。この状況は、次の場合に発生します。
 - データインポートツールを使用してレコードを追加した場合
 - 個人取引先を法人取引先に変換した場合 (さらに、新たに作成された法人取引先が既存の法人取引先と一致した場合)
 - Salesforce API を使用してレコードを追加または編集した場合
- 複数のレコードを一度に保存する場合に重複ルールが [ブロック] または [アラート] に設定されていると、同じ保存内のレコードが互いに比較されず、Salesforce にすでに存在するレコードとのみ比較されます。この動作は「レポート」アクションには影響せず、同じ保存内で他のレコードと一致したレコードが重複レコードセットに含まれます。
- クロスオブジェクト重複ルールで使用される一致ルールにカスタム選択リストが含まれている場合、カスタム選択リストはサポートされません。
- トランスレーションワークベンチでは、重複ルールのカスタマイズ可能なアラートテキストはサポートされていません。
- オブジェクトあたり最大 5 つの有効な重複ルールが許可されます。
- 重複ルールあたり最大 3 つの一致ルールが許可され、一致ルールはそれぞれオブジェクトが異なる必要があります。

一致ルールの制限

- 一致ルールは、取引先、取引先責任者、リード、およびカスタムオブジェクトに使用できます。商談や個人取引先などの他のすべてのオブジェクトは、現在サポートされていません。
- あいまい一致メソッドを使用する標準およびカスタムの一致ルールでは、ラテン文字のみがサポートされています。国際データを使用している場合は、一致ルールに完全一致メソッドを使用することをお勧めします。
- オブジェクトの項目が組織で使用できなくなった場合は、その項目への対応付けを含む一致ルールが無視され、重複の検出に影響する可能性があります。組織で使用できる項目に変更があった場合は、そのオブジェクトのすべての重複ルール項目の対応付けを確認してください。たとえば、[クリーンアップ状況] 項目は Data.com ライセンスを所有するユーザのみが使用できます。組織の Data.com ライセンスが失われた場合、この項目は使用できなくなり、この項目への対応付けを含む一致ルールは無視されます。
- 一致ルールあたりに許可される参照関係項目は 1 つのみです。
- オブジェクトあたり最大 5 つの有効な一致ルールが許可されます。
- 合計で最大 25 の有効な一致ルールが許可されます。
- 合計で最大 100 の一致ルールが許可されます (有効と無効の両方)。
- 一度に最大 5 つの一致ルールを有効化または無効化できます。

重複レコードセットの制限

- デフォルトでは、重複レコードセットはシステム管理者にのみ表示されますが、システム管理者は他のユーザに表示権限を付与できます。
- リードが重複として識別され、重複レコードセットの作成前に取引開始された場合、取引開始済みのリードは重複セットに含まれません。

取引先およびレコードのインポートの制限

レコードタイプに応じたデータインポートの制限です。

ACT!、Outlook、データを CSV 形式 (カンマ区切り値) で保存できるプログラム (Excel や GoldMine など) から、データをインポートできます。

レコードタイプ	インポートレコードの件数制限	アクセスを許可されるユーザ
自分が所有する法人取引先と取引先責任者	一度に 500 件	すべてのユーザ
別のユーザが所有する法人取引先と取引先責任者	一度に 50,000 件	管理者、 「すべてのデータの編集」権限を持つユーザ
自分が所有する個人取引先	一度に 50,000 件	すべてのユーザ

レコードタイプ	インポートレコードの件数制限	アクセスを許可されるユーザ
別のユーザが所有する個人取引先	一度に 50,000 件	管理者、 「個人取引先のインポート」権限を持つユーザ
リード	一度に 50,000 件	管理者、 リードの「参照」、「作成」および「編集」および「リードのインポート」権限を持つユーザ
キャンペーンメンバー	新規キャンペーンメンバーとしてインポートできるリードおよび既存のキャンペーンメンバー状況の更新 50,000 件	管理者、 マーケティングユーザ(または「リードのインポート」権限、およびキャンペーンに対する「編集」権限を持つユーザ)は、新規リードをキャンペーンメンバーとしてインポートできます。キャンペーン更新ウィザードを使用して既存のリードと取引先責任者をキャンペーンメンバーにするには、取引先責任者に対する「参照」権限も必要です。
カスタムオブジェクト	一度に 50,000 件	管理者、 「すべてのデータの編集」権限を持つユーザ
ソリューション	一度に 50,000 件	管理者、 「ソリューションのインポート」権限を持つユーザ
納入商品 ケース キャンペーン 契約 ドキュメント 商談 商品	これらのレコードは、インポートウィザードでインポートできません。	

インポートファイルのサイズは 100MB を超えることはできません。ファイルの各レコードは 400KB を超えることはできません。また、インポートされるメモと説明はそれぞれ、32KB を超えることはできません。32KB より長い説明は切り捨てられます。

関連トピック:

[個人取引先および法人取引先の制限](#)

個人取引先および法人取引先の制限

個人取引先および法人取引先の項目の制限です。

組織で個人取引先を使用している場合は、取引先項目ページに、個人取引先および法人取引先項目の両方が一覧表示されます。個人取引先では、取引先および取引先責任者項目が併用されます。次の取引先責任者項目は、個人取引先では使用できますが、法人取引先では使用できません。

- 個人取引先アイコンが表示されている取引先標準項目リスト内の項目。
- 取引先責任者カスタム項目 & リレーションリスト内の項目。

見積の制限

見積テンプレートおよび見積 PDF の制限です。

見積テンプレートの制限

状況によって、項目が見積テンプレートのパレットや、テンプレートから作成した PDF に表示されないことがあります。

- 項目レベルセキュリティ設定によって表示や更新ができない項目は、テンプレートにその項目が含まれている場合でも、テンプレートから作成した PDF 上に表示されません。PDF には参照のみの項目が表示されません。
- 見積ページレイアウト上に表示されていて、特定の見積の値がない項目は、見積テンプレートのパレットに表示されますが、その見積から作成した PDF には表示されません。
- データが含まれていない見積品目名の項目は、テンプレートにその項目が含まれていても、PDF 作成時にはリストに列として表示されません。たとえば、割引を提供する見積品目名がない場合、リストに [割引] 項目が含まれていても、[割引] 列は表示されません。
- 見積ページレイアウト上に関連するリストが含まれていない場合、テンプレートパレットまたはそのページレイアウトを使用する見積の PDF に表示されません。

見積 PDF の制限

- 見積 PDF の関連リストに表示されるテキスト項目は、256 文字未満に切り捨てられます。この制限は、リッチテキストエリア項目、他のタイプのテキスト項目、標準項目、カスタム項目に適用されます。
- 見積 PDF では、右から左へ記述される言語はサポートされません。テキストは右揃えではなく左揃えで表示されます。

スケジュールの制限

組織が使用できるスケジュールタイプの制限です。

Salesforce システム管理者は組織で使用可能なスケジュールの種類を決定します。これらは数量スケジュール、収益スケジュール、またはその両方です。システム管理者は、個別の商品ごとに設定可能なスケジュールの種類も指定します。

Apex でスケジュールを参照している場合、無効にできるスケジュール種別 (数量または収益) は 1 つのみです。たとえば、Apex でスケジュールオブジェクト (コード内の `OpportunityLineItemSchedule`) を参照している場合、片方のスケジュール種別を無効にすることはできますが、両方を無効にすることはできません。

エンタープライズテリトリー管理の制限

エンタープライズテリトリー管理のモデル、テリトリー、および割り当てルールの制限。

テリトリーモデルの制限

組織の Salesforce のエディションによって、本番組織および Sandbox 組織で作成できるテリトリーモデル数が決まります。この制限には、コピーによって作成されたモデルも含まれます。

エディション	本番組織でのモデル数	Sandbox 組織でのモデル数
Developer	4	4
Enterprise	2	2
Performance	4	4
Unlimited	4	4

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic

使用可能なエディション:
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、および
Developer Edition

テリトリーのデフォルトの制限

デフォルトでは、各テリトリーモデルには最大 1,000 個のテリトリーを設定できます。

割り当てルールの制限

各テリトリーには 15 個までの割り当てルールを指定できます。

ワークフローと承認の全般的な制限

ワークフロールールと承認プロセスに関する各エディションの制限です。

ワークフローと承認では、メールや項目更新などの頻繁に行う ToDo が自動化されます。

エディションごとのワークフローと承認の制限

ワークフローと承認の制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
承認プロセス	なし	なし	なし	組織ごとに次の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> 1,000 個の承認プロセス オブジェクトあたり 300 個の承認プロセス 承認プロセスごとに次の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> 30 ステップ ステップあたり 25 個 (人) の承認 最大 40 個の申請時のアクション 最大 40 個の最終承認時のアクション 最大 40 個の最終却下時のアクション 最大 40 個の取り消し時のアクション 申請時、最終承認時、最終却下時、および取り消し時のアクションのセットごとに次の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 10 回のメールアラート 最大 10 件の ToDo 最大 10 項目の更新 最大 10 件のアウトバウンドメッセージ 			
承認申請コメント: 最大文字数	なし	なし	なし	承認申請のコメントは 4,000 文字に制限されています。中国語、日本語、または韓国語の場合は 1,333 文字に制限されます。			

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic および
Lightning Experience の両方

使用可能なエディション:
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、および
Developer Edition

ワークフローと承認の制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
ワークフロールール	なし	なし	なし	<p>ワークフロールールごとに次の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大 10 回のトリガ 最大 40 回のルール適用時のアクション タイムトリガごとの最大 40 回の時間ベースのアクション <p>ルール適用時のアクションと各タイムトリガには次の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大 10 回のメールアラート 最大 10 件の ToDo 最大 10 項目の更新 最大 10 件のアウトバウンドメッセージ 最大 10 件のフロートリガ¹ 			
1時間のワークフロータイムトリガ	なし	なし	なし	250	500	50	1,000
フロートリガ ² ワークフローアクション:フロー変数割り当て	なし	なし	なし	なし	25	25	25
1日あたりのワークフローメール	なし	なし	なし	標準 Salesforce ライセンスにつき 1,000 件 1 組織につき 2,000,000 件	標準 Salesforce ライセンスにつき 1,000 件 1 組織につき 2,000,000 件	標準 Salesforce ライセンスにつき 15 件 1 組織につき 2,000,000 件	標準 Salesforce ライセンスにつき 1,000 件 1 組織につき 2,000,000 件

¹ 以前にパイロットプログラムで使用できたフロートリガワークフローアクションは、プロセスビルダーに置き換えられました。フロートリガワークフローアクションを使用している組織は、引き続き作成および編集できますが、新しい組織ではフロートリガワークフローアクションを使用できません。

承認申請コメントの文字制限

承認申請のコメントは 4,000 文字に制限されています。中国語、日本語、または韓国語の場合は 1,333 文字に制限されます。

ルールの制限


Salesforce エディションによって、さまざまな種類のルールに制限がある場合があります。次の表に、各エディションでの制限を示します。

制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
有効なルール (制限は、有効なプロセスルールとワークフロールール、割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの任意の組み合わせに適用されます。)	なし	なし	なし	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。	オブジェクトにつき最大 50 項目。
許可されたルール数合計 (制限は、有効または無効両方のワークフロールール、割り当てルール、自動レスポ	なし	なし	なし	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件	オブジェクトにつき最大 500 項目。 1 組織につき 2,000 件

制限	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition および Performance Edition
ンスルール、およびエスカレーションルールの任意の組み合わせに適用されます。)							
割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルール	なし	なし	なし	割り当て、自動レスポンス、およびエスカレーションルールごとに次の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> 3,000 件のエントリ 300 件の数式条件エントリ エントリごとに 25 件の検索条件 			
ルールあたりの使用できるアクションの合計	なし	なし	なし	200	200	200	200

フロートリガの制限

フロートリガは、フローを起動するワークフローアクションです。

-  **メモ:** 以前パイロットプログラムで利用できたフロートリガワークフローアクションが、プロセスビルダーに置き換えられました。フロートリガワークフローアクションを使用している組織は、引き続き作成および編集できますが、新しい組織ではフロートリガワークフローアクションを使用できません。
- フロートリガは、ワークフロールールにのみ使用できます。承認プロセスなどの他の場所でアクションとしてこれらを使用することはできません。
- フロートリガは、ワークフロールールでサポートされるほとんどの(すべてではない)オブジェクトで使用できます。新しいフロートリガを作成するときに、サポートされているオブジェクトのリストを確認できます。[設定]から、[クイック検索] ボックスに「フロートリガ」と入力し、[フロートリガ]をクリックします。
- フロートリガは、時間ベースのワークフローアクションとしては使用できません。フロートリガは、ルール適用時のアクションとしてのみワークフロールールに追加できます。

- フロートリガで起動できるのは、有効な自動起動フローのみです。ただし、フロートリガがテストモードの場合、システム管理者が実行するのが最新のフローであるのに対して、その他のユーザが実行するのはフローの有効バージョンです。
- フロートリガは、フロー内の最大25個の変数と sObject 変数の値を設定できますが、次の制限があります。
 - フロートリガでは、フロー変数または sObject 変数の設定に複数選択リスト項目を使用できません。
 - フロートリガが通貨項目を使用してフロー変数を設定すると、金額のみがフローに渡されます。通貨 ISO コードやロケール情報は無視されます。組織でマルチ通貨を使用している場合、フロートリガは特定の通貨項目を含むレコードの通貨で金額を使用します。
 - フロートリガは、フロー内の sObject コレクション変数に値を渡すことができません。
- フロートリガは、変更セット内では使用できません。
- フロートリガはパッケージ化できません。

Visual Workflow の配布の制限

URL、Visualforce ページ、変更セット、またはパッケージを使用してフローをユーザに配布する場合は、次の制限を考慮してください。

ユーザ権限

Salesforce データベースを操作するフローの場合、関連するレコードと項目を作成、参照、編集、および削除する権限がユーザにあることを確認します。権限がない場合、ユーザがフローを起動しようとする権限が不十分であるというエラーが表示されます。たとえば、フローはケースレコードの状況を検索して更新するとします。このフローユーザは、ケースオブジェクトの「状況」項目に対する「参照」権限と「編集」権限が必要です。

URL を使用したフローの配布

- Salesforce 組織の外部 URL にフローユーザをリダイレクトすることはできません。
- フローを配布するとき、URL パラメータを使用して Salesforce レコードから通貨項目値を currency 型のフロー変数に渡さないでください。通貨項目が差し込み項目({!Account.AnnualRevenue} など)を介して参照される場合、値には通貨単位の記号(\$など)が含まれます。currency 型のフロー変数で受け入れられるのは数値のみであるため、フローは実行時にエラーになります。代わりに、URL パラメータを使用してレコードの ID を text 型のフロー変数に渡します。フローでは、その ID を使用して該当するレコードの通貨項目の値を検索してください。

外部ユーザへのフローの配布

サイトまたはポータルユーザがフローを使用できるようにするには、フロー自体ではなく、埋め込みフローを含む Visualforce ページを参照するようにします。サイトおよびポータルユーザがフローを直接実行することはできません。

変更セットを使用したフローのリリース

- 変更セットを使用してフローをリリースする場合、移行サポートの制限を考慮します。変更セットで使用可能な項目とコンポーネントのみをフローで参照していることを確認してください。
- 変更セットには1つのバージョンフローのみを含むことができます。

パッケージを使用したフローのリリース

- フローをパッケージパッチに含めることはできません。

- パッケージを使用してフローをリリースする場合、移行サポートの制限を考慮する必要があります。パッケージ化できるコンポーネントと項目のみをフローで参照していることを確認してください。
- パッケージ化できるのは有効なフローのみです。フローの有効なバージョンは、パッケージバージョンをアップロードするときに決定されます。フローのバージョンがいずれも有効でない場合は、アップロードに失敗します。
- リリース組織では、フローをリリースまたはベータ管理パッケージにアップロードすると、フローまたはフローバージョンを削除できません。

パッケージからのフローのインストール

- 新規の対象組織に複数のバージョンのフローを含むパッケージをインストールすると、最新バージョンのフローのみがリリースされます。
- インストール済みのパッケージからフローを削除することはできません。パッケージ化されたフローを組織から削除するには、無効にしてからパッケージをアンインストールします。
- 複数の未管理パッケージからインストールされた複数のバージョンのあるフローがある場合は、そのパッケージをアンインストールすると1つのバージョンのみを削除できます。フローの単一のバージョンを含むパッケージ(管理または未管理)のアンインストールを行うと、すべてのバージョンを含むフロー全体が削除されます。
- 組織に存在するフローと同じ名前で、異なるバージョン番号を持つ未管理のパッケージからフローをインストールする場合、新たにインストールされたフローは、既存のフローの最新バージョンになります。ただし、パッケージ化されたフローの名前とバージョン番号が組織のフローのものと同一である場合、パッケージのインストールは失敗します。フローを上書きすることはできません。
- 開発組織の管理-ベータパッケージのインストールからはフローコンポーネントを削除できません。

地図およびロケーションサービスの制限

ユーザあたりのマップビューの制限です。

地図およびロケーションサービスでは、Google マップを使用して標準住所項目の地図を表示し、Visualforce 地図を作成できます。また、ユーザがオートコンプリートを使用して新しい住所を入力できます。

マップビューの制限

各有料ユーザおよびプロビジョニング対象ユーザは、1年あたり4,000回のマップビューが許可されています。組織全体のマップビューは、その有料ユーザとプロビジョニング対象ユーザに割り当てられた合計マップビュー数に制限されます。この組織の合計マップビュー数は、有料ユーザと無料ユーザの両方によって共有されます。マップビューは次のいずれかとして定義されます。

- 個々の標準住所の地図の表示
 - ☑ **メモ:** 同一レコードの請求先住所と納入先住所を表示した場合、2回のマップビューとみなされます。
- 単一の Visualforce 地図の表示
- 場所が Visualforce 地図上の住所で指定されている地図のマーカーの表示
 - ☑ **メモ:** 場所が緯度と経度で定義された地図のマーカーは、マップビューには表示されません。

- [標準住所項目のロックアップの各オートコンプリート](#)

モバイルアプリケーションの制限

このセクションの内容:

[Salesforce1 の制限と Salesforce フルサイトとの違い](#)

Salesforce1 モバイルアプリケーションには Salesforce フルサイトのすべての機能はありません。また、フルサイトでは使用できない機能がある場合もあります。

[Salesforce Classic Mobile アプリケーションの制限](#)

Salesforce1 の制限と Salesforce フルサイトとの違い

Salesforce1 モバイルアプリケーションには Salesforce フルサイトのすべての機能はありません。また、フルサイトでは使用できない機能がある場合もあります。


違いは、次の領域にあります。

- [サポートされる Salesforce データ](#)
- [ページレイアウト \(項目および関連リストを含む\)](#) (ページ 84)
- [ナビゲーションとアクション](#)
- [情報の検索](#)
- [レコードの作成と編集](#)
- [重複管理](#)
- [メモ](#)
- [Salesforce Today](#)
- [ToDo と行動](#)
- [Work.com 機能](#) (ページ 92)
- [Salesforce1 レポート](#)
- [Chatter フィード、トピック、プロファイル、グループ、およびファイル](#)
- [Chatter の質問](#)
- [Salesforce コミュニティ](#)
- [承認申請](#)
- [通知](#)
- [ロケールと言語のサポート](#)
- [サポートされる Salesforce のカスタマイズ](#)

Salesforce1 でサポートされるデータ: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

次のオブジェクトは、Salesforce1 モバイルアプリケーションで使用できます。

- [\[取引先\]](#) および [\[個人取引先\]](#)

- キャンペーン
 - ケース
 - 取引先責任者
 - 契約
 - D&B 企業 (*Data.com* プレミアムプロスペクタおよび *Data.com* プレミアムクリーンアップ顧客の場合は参照のみ)
 - ダッシュボード (参照のみ)
 - 行動
 - リード
 - Live Chat のトランスクリプト
 - 商談
 - 注文 (参照または編集のみ)
 - レポート (参照のみ)
 - Salesforce ナレッジ記事 (参照のみ、モバイルブラウザアプリケーションのみ)
 - ToDo
 - Work.com コーチング、目標、感謝、報奨、およびスキル (*iOS* ダウンロード可能アプリケーションではスキルを使用できません)
 - Lightning Connect 経由の外部オブジェクト (参照のみ、*Android* ダウンロード可能アプリケーションでは使用できません)
 - アクセスできるタブを含むカスタムオブジェクト
-  **メモ:** Salesforce1 で使用できるようにするには、アクセスできるタブがオブジェクトに含まれている必要があります。これは、サポートされる標準オブジェクトと組織のカスタムオブジェクトについても当てはまります。

Salesforce1 ではユーザオブジェクトはサポートされず、ユーザのレコード詳細ページにもアクセスできません。ただし、ユーザ項目はサポートされ、ユーザプロフィール、関連リストなどに表示されます。

Salesforce1 でのユーザ項目に関する問題については、「[Salesforce1 でのページレイアウト: 制限と Salesforce フルサイトとの違い](#)」を参照してください。

Salesforce1 では次の機能はサポートされていません。

- 標準またはカスタム Salesforce アプリケーション。代わりに、ユーザはナビゲーションメニューを使用して、モバイルアプリケーションで使用できるすべてのオブジェクトにアクセスできます。
- Salesforce コンソールまたはエージェントコンソール
- 高度な通貨管理

取引先

- ソーシャル取引先:
 - Salesforce1 では、LinkedIn、Facebook、Klout、YouTube のソーシャル取引先機能にアクセスできません。
 - 取引先がソーシャルネットワークプロフィールにリンクされている場合、ソーシャルネットワークにログインしていなくても、取引先に選択されているプロフィールの画像が、Salesforce1 でその取引先を表

示しているときに表示される可能性があります。LinkedIn にログインしたときに表示される LinkedIn のプロフィール画像、Facebook または Twitter の画像は、その時点でそれらのネットワークにログインしていない場合でも表示されます。Salesforce1 では他のプロフィール画像に切り替えることはできません。

- Salesforce1 ダウンロード可能アプリケーションを使用している場合、関連付けられた Twitter ユーザのツイート、リツイート、返信、お気に入りを表示できます。Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションでは、Twitter で直接 Twitter プロフィールをタップしてツイートなどを表示します。また、Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションでは、Twitter ユーザをフォローしているユーザや、Twitter ユーザがフォローしているユーザも表示できません。
 - Salesforce1 では、自分や自分の取引先が Twitter で共有している共通のコネクションがリストされます。Salesforce フルサイトでは、共通のコネクションを表示することはできません。
 - Salesforce1 で取引先の Twitter カードを表示するには、Twitter をページレイアウトに追加する必要があります。Salesforce フルサイトにアクセスして、ページレイアウトを編集します。組織で個人取引先を使用している場合は、法人取引先レイアウトと個人取引先レイアウトで別々にカードを追加する必要があります。
- Salesforce フルサイトでは、取引先ニュースを使用できません。
 - [削除] ボタンおよび [外部取引先管理] ボタンは使用できません。
 - 取引先階層を表示することはできません。
 - 取引先または取引先責任者をマージできません。
 - 取引先チーム、パートナー、メモ、および添付ファイルを表示できますが、編集することはできません。
 - 取引先ホームのレポートおよびツールは使用できません。
 - [取引先責任者の役割] 関連リストの [役割] 項目は使用できません。
 - Data.com クリーンアップを使用して取引先レコードをクリーンアップすることはできません。

取引先チーム

- 取引先チームを表示できますが、Salesforce1 で取引先チームを追加、編集、または削除することはできません。
- [アクセス権の表示] ボタンは使用できません。

キャンペーン

- [メンバーの管理] ボタンおよび [高度な設定] ボタンは使用できません。
- キャンペーン階層は、関連リストとしてのみ使用できます。キャンペーン詳細ページのリンクから [階層の表示] へのオプションは使用できません。親キャンペーンを表示するとき、[キャンペーン階層] 関連リストには子キャンペーンのみが表示されます。一方、フルサイトには親と子の両方のキャンペーンが表示されます。
- [キャンペーンメンバー] 関連リストを表示する場合、メンバーの状況のみが表示されます。ただし、メンバーをタップすれば、その詳細情報を表示できます。


ケース

- [メール]、[ポータル]、[ケースのメモ]、[ケースの状況を変更]を含むケースフィード固有のアクション、および[活動の記録]のケースフィードのバージョンは、Salesforce1 でサポートされておらず、モバイルアプリケーションで使用できません。

従来の「ケースフィードユーザのページレイアウト」が有効になっている組織では、「ケースフィードを使用」権限が割り当てられているユーザに、モバイルアプリケーションの標準ケースレイアウトが表示されます。

- [サービス契約] 関連リストおよび [契約品目] の関連リストの一部の項目は使用できません。
- 次のケースの関連リストは使用できません。
 - 休日の営業時間リスト
 - ケース取引先責任者の役割
 - マイルストーンリスト
 - ソリューションリスト
 - チームメンバーリスト
 - チームのチームメンバーリスト
 - チームテンプレートメンバーリスト

取引先責任者

- ソーシャル取引先責任者:
 - Salesforce1 では、LinkedIn、Facebook、Klout、YouTube のソーシャル取引先責任者機能にアクセスできません。
 - 取引先責任者がソーシャルネットワークプロフィールにリンクされている場合、ソーシャルネットワークにログインしていなくても、取引先責任者に選択されているプロフィールの画像が、Salesforce1 でその取引先責任者を表示しているときに表示される可能性があります。LinkedIn にログインしたときに表示される LinkedIn のプロフィール画像、Facebook または Twitter の画像は、その時点でそれらのネットワークにログインしていない場合でも表示されます。Salesforce1 では他のプロフィール画像に切り替えることはできません。
 - Salesforce1 ダウンロード可能アプリケーションを使用している場合、関連付けられた Twitter ユーザのツイート、リツイート、返信、お気に入りを表示できます。Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションでは、Twitter で直接 Twitter プロフィールをタップしてツイートなどを表示します。また、Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションでは、Twitter ユーザをフォローしているユーザや、Twitter ユーザがフォローしているユーザも表示できません。
 - Salesforce1 では、自分や自分の取引先責任者が Twitter で共有している共通のコネクションがリストされます。Salesforce フルサイトでは、共通のコネクションを表示することはできません。
 - Salesforce1 で取引先責任者の Twitter カードを表示するには、Twitter を取引先責任者のページレイアウトに追加する必要があります。Salesforce フルサイトにアクセスして、ページレイアウトを編集します。
-  アイコンを使用して Salesforce1 アプリケーションからメールを送信する場合は活動ログは作成されません。

- [登録情報照会]、[外部ユーザの管理]、および [カスタマーユーザを有効化] ボタンは使用できません。
- 商談、取引先ユーザ、または添付ファイルを取引先責任者に追加したり、取引先責任者をキャンペーンに追加したりすることはできません。
- 取引先または取引先責任者をマージできません。
- Data.com から取引先責任者を追加したり、Data.com クリーンアップを使用して取引先責任者をクリーンアップすることはできません。

契約

- [コピー]、[有効化]、および [無効化] ボタンは使用できません。
- 次の契約の関連リストは使用できません。
 - 契約履歴
 - 未承認申請

リード

- ソーシャルリード:
 - Salesforce1 では、LinkedIn、Facebook、Klout、YouTube のソーシャルリード機能にアクセスできません。
 - リードがソーシャルネットワークプロフィールにリンクされている場合、ソーシャルネットワークにログインしていても、リードに選択されているプロフィールの画像が、Salesforce1 でそのリードを表示しているときに表示される可能性があります。LinkedIn にログインしたときに表示される LinkedIn のプロフィール画像、Facebook または Twitter の画像は、その時点でそれらのネットワークにログインしていない場合でも表示されます。Salesforce1 では他のプロフィール画像に切り替えることはできません。
 - Salesforce1 ダウンロード可能アプリケーションを使用している場合、関連付けられた Twitter ユーザのツイート、リツイート、返信、お気に入りを表示できます。Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションでは、Twitter で直接 Twitter プロフィールをタップしてツイートなどを表示します。また、Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションでは、Twitter ユーザをフォローしているユーザや、Twitter ユーザがフォローしているユーザも表示できません。
 - Salesforce1 では、自分や自分のリードが Twitter で共有している共通のコネクションがリストされます。Salesforce フルサイトでは、共通のコネクションを表示することはできません。
 - Salesforce1 でリードの Twitter カードを表示するには、Twitter をリードのページレイアウトに追加する必要があります。Salesforce フルサイトにアクセスして、ページレイアウトを編集します。
- リードの取引開始:
 - 取引先を選択できますが、作成することはできません。
 - 商談を作成できますが、既存の商談を選択することはできません。
 - 重複レコードのリードソースを選択できません。リードソースはデフォルトで重複する取引先責任者に設定されます。
 - 変換中に関連タスクを作成することはできませんが、取引先責任者レコードから ToDo を作成することはできます。
 - 取引を開始したリードについて所有者に自動的に通知することはできません。

- [重複の検索] ボタンおよび [レコードのロック解除] ボタンは使用できません。
- [リード履歴] 関連リストは使用できません。
- 新しいリードを追加する場合は、[キャンペーン] 項目および [有効な割り当てルールによりリードを割り当てる] チェックボックスを使用することはできません。Salesforce フルサイトでは次の項目に値を追加できます。

商談

- [競合] ボタンは使用できません。
- [商談の分割] 金額項目、[商品] 小計項目、および [フェーズの履歴] 接続項目は使用できません。
- [キャンペーンの影響] および [類似商談] 関連リストは使用できません。
- これらの関連リストは使用できます。ただし、これらのリストではレコードプレビューカードのみが表示されますが、リストレコードをタップして開くことはできません。
 - 競合
 - 商談分割
 - フェーズの履歴
- [確度] または [売上予測分類] 項目は編集できません。ただし、レコードを保存するときに、項目値は([商談フェーズ] 項目の値に基づいて)自動的に入力されます。Salesforce フルサイトでは次の項目の値を手動で編集できます。
- Salesforce1 を使用する前に、商品を商談に追加し、商談に価格表がすでに関連付けられている必要があります。価格表は、Salesforce フルサイトでのみ商談に関連付けることができます。
- 商談に収益または数量スケジュールが設定された商品は追加できません。追加すると、商談に商品は表示されますが、スケジュールが作成されません。商談から商品スケジュールを再確立することもできません。

商談チーム

- [コピー] ボタンおよび [アクセス権の表示] ボタンは使用できません。

注文

- [作成] ボタン、[コピー] ボタン、[有効化] ボタン、[無効化] ボタン、[注文を削減] ボタンは使用できません。
- 注文商品は追加、編集、または削除できません。

見積

- 見積 PDF は関連リストに表示されますが、参照できません。
- 見積を承認または却下することはできますが、見積の承認申請はできません。
- 次のアクションは実行できません。
 - 見積のメール送信
 - PDF の作成
 - 同期開始
 - 同期中止

Salesforce ナレッジ記事

- 記事は参照のみです。
- 記事を管理したり、記事をケースに添付したりできません。
- [リンク済みケース] 関連リストは使用できません。
- 知識ベースの検索で、記事番号と最終公開日が記事のタイトルの下の同じ行に表示されます。フルサイトでは、最終公開日が記事の概要の後の最後の行に示されます。

Salesforce1 でのページレイアウト: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

項目

- ユーザの詳細ページは Salesforce1 モバイルアプリケーションでは使用できませんが、ユーザ項目はサポートされ、ユーザプロフィール、関連リストなどに表示されます。

次のユーザ項目が関連リストまたはモバイルカードに表示される場合、いくつかの問題があります。

- 内部ユーザが別の内部ユーザに関連付けられたモバイルカードまたは関連リストエントリを参照した場合、[会社名] 項目は空白になります。参照されるユーザが外部ユーザの場合、会社名は正しく表示されます。
- ユーザが有効な場合、[有効] 項目は空白になります。
- これらの項目は、Salesforce1 ではサポートされていません。
 - ディビジョン項目
 - テリトリー管理項目
- 数式項目のリンクは使用できません。
- リッチテキストエリア項目のサポートは、Salesforce1 のバージョンやデバイス種別によって異なります。

デバイス	Salesforce1 バージョン	リッチテキストエリア項目の表示	リッチテキストエリア項目の編集
Android	ダウンロード可能アプリケーション モバイルブラウザアプリケーション	○	○ リッチテキストエディタは使用できません。ただし、HTML タグを手動で追加できます。
BlackBerry	モバイルブラウザアプリケーション	×	×
iOS	ダウンロード可能アプリケーション	○	×
iOS	モバイルブラウザアプリケーション	○	○ リッチテキストエディタを使用できます。

デバイス	Salesforce1 バージョン	リッチテキストエリア項目の表示	リッチテキストエリア項目の編集
Windows 8.1	モバイルブラウザアプリケーション	×	×

ページレイアウトのタブキーの順序

- タブキーの上から下の順序は、Salesforce1 でサポートされていません。ページレイアウトでユーザが項目を上から下の順に移動できるように設定されている場合でも、Salesforce1 では項目を左から右の順にのみ移動します。

関連リスト

- Salesforce1 の関連リストには、オブジェクトのページレイアウトの [関連リスト] セクションで定義された最初の 4 つの項目が表示されます。表示される項目数を増やすことはできません。
- 次を含む一部の関連リストはモバイルアプリケーションでは使用できません。

- コンテンツ配信
- 外部共有
- 関連コンテンツ

特定のオブジェクトで使用できない関連リストについては、「[Salesforce1 でサポートされるデータ: 制限と Salesforce フルサイトの違い](#) (ページ 78)」を参照してください。

- [メモと添付ファイル] 関連リストは、Salesforce1 では完全にはサポートされていません。次のようないくつかの問題があります。
 - Salesforce フルサイトで追加された添付ファイルは、関連リストに表示されていても Salesforce1 で開けるとは限りません。代わりに Files を使用することをお勧めします。フルサイトの [ファイル] タブにアップロードされたドキュメントは、Salesforce1 で参照できます。
 - 関連リストのメモまたは添付ファイルを追加したり削除したりすることはできません(ただし、Salesforce1 アクションバーの [メモ] (📄) アクションを使用して、メモを作成してからレコードに関連付けることができます。システム管理者が Salesforce1 でメモをどのように設定しているかによっては、一部のオブジェクトでこのアクションを使用できないことがあります)。
 - 子レコードのメモおよび添付ファイルは、親のレコードの関連リストには表示されません。
- 関連リストをテキストエリア項目で並び替えた場合、レコードは表示されません。

Salesforce1 でのナビゲーションとアクション: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

ナビゲーション

- Salesforce1 モバイルアプリケーションは、縦方向でのみサポートされています。ダウンロード可能アプリケーションでは、デバイスを横方向に切り替えてもインターフェースは回転しません。モバイルブラウザアプリケーションのインターフェースは回転しますが、この方向では正しく動作しない可能性があります。


アクション

- クイックアクション、生産性アクション、標準およびカスタムボタンなどほとんどのアクションは、Salesforce1 のアクションバーまたはリスト項目のアクションとして表示されます。
- Salesforce の [メールを送信] クイックアクションと、ケースフィードの標準の [メール] アクションにはいくつかの相違点があります。
 - [メールを送信] アクションでは、ユーザはリッチテキストエディタとプレーンテキストエディタを切り替えることができません。
 - [メールを送信] アクションでは、テンプレートがサポートされていません。
 - [メールを送信] アクションでは、クイックテキストを使用できません。
 - [メールを送信] アクションでは、添付ファイルがサポートされていません。
 - [メールを送信] アクションを使用しているときに、ユーザはメッセージをドラフトとして保存できません。
 - ユーザは、[メールを送信] アクションで [送信者] 項目を編集または表示できません。

Salesforce1 での検索: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

Salesforce1 では、グローバル検索時に同時に複数のオブジェクトは検索されません。代わりに、グローバル検索ボックスの下にある検索範囲バーを使用して、検索するオブジェクトを選択します。

検索範囲バーで使用できるオブジェクトは、Salesforce1 ナビゲーションメニューの [最近] セクションに表示される項目と同じです。Salesforce を使用し始めたばかりで最近のオブジェクトの履歴がまだない場合、一連のデフォルトのオブジェクト (取引先、ケース、取引先責任者、ファイル、リード、商談、グループ、人) を検索できます。ただし、これらの項目がナビゲーションメニューに直接追加されている場合はこの限りではありません。Salesforce1 および Salesforce フルサイトをしばらく使用していると、[最近] セクションのデフォルトのオブジェクトが最も使用するオブジェクトに置き換えられ、それらのオブジェクトを Salesforce1 のグローバル検索で使えるようになります。

 **メモ:** ユーザが定期的に操作したオブジェクトが [最近] セクションに表示されるまで、最大 15 日かかる場合があります。[最近] セクションにすぐにオブジェクトが表示されるようにするには、フルサイトの検索結果からそれらのオブジェクトを固定します。

目的のオブジェクトが Salesforce1 のグローバル検索でまだ使用できない場合、そのオブジェクトを直接検索できます。ナビゲーションメニューから、[最近] セクションの下にある [さらに表示] をタップし、使用可能なすべてのオブジェクトを表示します。次に、オブジェクトをタップして、そのレコードの検索ページを開きます。

グローバル検索またはオブジェクト固有のレコード検索のいずれの場合でも、Salesforce1 の検索結果にリストビューは含まれません。リストビューを検索するには、オブジェクトのレコード検索ページを開いて、検索語を入力します。入力すると、一致する項目のリストが展開され、Salesforce フルサイトで最後にアクセスしたリストビューが表示されます。

Salesforce1 で検索を行う場合、次の操作を行うことはできません。

- 検索結果の絞り込み
- 頻繁に使用する項目の PIN
- デイビジョンによる検索

Salesforce1 でのデータ入力: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

新規レコードの追加または既存のデータの更新時には、Salesforce フルサイトと Salesforce1 アプリケーションでいくつかの相違点があります。

カテゴリ	問題	レコードの作成	レコードの編集
すべてのレコード	インライン編集は使用できません。	✓	✓
	レコードの所有者とそのレコードタイプは変更できません。		✓
	コンボボックス (選択リストとテキスト項目の組み合わせ) は使用できません。通常、テキスト項目は使用できますが、選択リストは使用できません。	✓	✓
	テリトリー管理を有効化している場合、レコードのテリトリールールを割り当てたり、変更したりすることはできません。	✓	✓
取引先と取引先責任者	[住所(請求先)を住所(納入先)へコピー] リンクおよび [住所(郵送先)を住所(その他)へコピー] リンクは使用できません。	✓	✓
	テリトリー管理が有効になっている場合、取引先レコードを編集するときに [保存時にこの取引先をテリトリールールに照らして評価します] オプションを使用できません。		✓
行動	行動所有者は、行動の招待者を変更、追加または削除することはできません。複数の取引先責任者が行動に関連している場合、所有者は取引先責任者を編集できません。行動の関連リードまたは取引先責任者が 1 名のみである場合、所有者はそれらを編集できますが、さらに追加することはできません。		✓
	取引先責任者またはオブジェクトに関連していない行動は表示されません。	✓	✓
	招待された行動を受諾または却下することはできません。		✓
	Shared Activities を使用して複数の取引先責任者を行動に関連付けることはできません。	✓	✓
	提案行動 ([新規ミーティング要請] ボタン) はサポートされていません。	✓	✓
	[名前] 項目が [リード] に設定されている場合、[関連先] 項目が引き続き編集可能です。ただし、レコードを保存するときに [関連先] 項目にデータが含まれている場合はエラーが表示されます。	✓	✓
	定期的な行動を作成したり、定期的な行動の詳細を変更したりすることはできません。定期的な行動の個々の行動の詳細は変更できます。	✓	✓
	[件名] 項目に、すでに定義されている件名の選択リストは含まれません。	✓	✓

カテゴリ	問題	レコード の作成	レコード の編集
	関連付けられた取引先責任者の [メール] 項目および [電話] 項目は表示されません。	✓	✓
	[説明] 項目のスペルチェックは使用できません。	✓	✓
	添付ファイルは追加できません。	✓	✓
	通知メールを送信することはできません。	✓	✓
	行動アラームを設定することはできません。	✓	✓
リード	新しいリードを追加する場合は、[キャンペーン] 項目および [有効な割り当てルールによりリードを割り当てる] チェックボックスを使用することはできません。フルサイトでは次の項目に値を追加できます。	✓	
商談	[確度] または [売上予測分類] 項目は編集できません。ただし、レコードを保存するときに、これらの項目には値が([フェーズ] 項目の値に基づいて)自動的に追加されます。フルサイトでは次の項目の値を手動で編集できます。	✓	✓
ToDo	[件名] 項目に、すでに定義されている件名の選択リストは含まれません。	✓	✓
	[名前] 項目が [リード] に設定されている場合、[関連先] 項目が引き続き編集可能です。ただし、レコードを保存するときに [関連先] 項目にデータが含まれている場合はエラーが表示されます。	✓	✓
	関連付けられた取引先責任者の [メール] 項目および [電話] 項目は表示されません。	✓	✓
	Shared Activities を使用して複数の取引先責任者を ToDo に関連付けることはできません。	✓	✓
	定期的な ToDo を作成したり、定期的な ToDo の詳細を変更したりすることはできません。定期的な ToDo の個々の ToDo の詳細は変更できます。	✓	✓
	[コメント] 項目のスペルチェックは使用できません。	✓	✓
	添付ファイルは追加できません。	✓	✓
	通知メールを送信することはできません。	✓	✓
	ToDo アラームを設定することはできません。	✓	✓
参照項目	連動ルックアップはサポートされません。	✓	✓
	ユーザ定義のルックアップ検索条件項目はサポートされません。	✓	✓
	システム管理者定義の連動ルックアップ検索条件項目はサポートされません。	✓	✓

カテゴリ	問題	レコード の作成	レコード の編集
電話番号項目	電話番号項目にはキーパッドが表示されます。そのキーパッドで電話番号をタップします。キーパッドには括弧、ハイフン、またはピリオドは含まれていません。また、Salesforce1 では、レコードの保存時に電話番号形式が適用されません。特定の電話番号形式を適用するには、フルサイトでレコードを編集します。	✓	✓
選択リスト項目	制御と連動選択リストはサポートされますが、Salesforce1 ではこれらの項目の作成と編集のページにインジケータは表示されません。選択リスト項目が連動関係にあるかどうか、どの選択リスト項目がそれを制御しているかを判定するには、フルサイトに切り替えてください。	✓	✓

Salesforce1 での重複管理: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

Salesforce1 アプリケーションの重複管理はフルサイトと似ていますが、次のような違いがあります。

- 重複の可能性があるたびに「重複カード」に表示されます。Salesforce1 では、さらに重複の可能性があったとしても、表示されるのは最大 30 件 (オブジェクトあたり 10 件) です。
- 重複カードには 3 つの項目が表示されます。これらは、関連付けられたマッチングルールからではなく、組織に定義された検索結果の形式から取得されます。
- 重複カードをタップすると重複候補のレコードの完全な詳細を表示できますが、このアクションによって、新規レコードまたは更新されたレコードに入力した情報が消去されます。レコードを保存する前または追加の重複カードを表示する前に、その情報を再入力する必要があります。
- レコードを保存するときに、デフォルトで重複ルールが実行されます。システム管理者は、レコードの項目を完了すると重複ルールが実行されるように Salesforce1 のこの設定を変更できます。フルサイトの場合、[設定] から [クイック検索] ボックスに「重複管理」と入力し、[重複管理] を選択します。[重複ルールの設定] セクションで、[ユーザが項目を完了するときの重複ルールの実行] をオンにします。

Salesforce1 でのメモ: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

- Salesforce1 を使用する場合、Salesforce1 ナビゲーションメニューの [メモ] 項目から自分のすべてのメモにアクセスできます。フルサイトの Salesforce Classic バージョンには [メモ] タブがありません。代わりに、Salesforce Classic ユーザは [ファイル] タブからメモにアクセスします。
- フルサイトの Salesforce Classic バージョンではメモを複数のレコードに関連付けることができませんが、モバイルアプリケーションではこの操作が可能です。

Salesforce1 の Salesforce Today: 制限

Salesforce Today は、Android 端末や iPhone および iPad デバイス向けの Salesforce1 ダウンロード可能アプリケーションで使用できます。これは、Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションや Salesforce フルサイトでは使用できません。

Today を使用する場合、いくつか問題があります。

- モバイルデバイスの選択したカレンダーからローカルの行動を表示できますが、Salesforce の行動はこのリリースの Today では使用できません。
- 一部またはすべてのカレンダーサーバによってデータが自動的にデバイスに転送されない場合、カレンダーを更新して Today に最新情報を表示する必要があります。
- 24 時間形式はサポートされていません。
- 複数日の行動を表示すると、終了日時のみが [特長] 領域に表示されます。
- 定期的な複数日の行動の場合、間違った日時が表示される場合があります。
- リストが長すぎるためカレンダーに招待者の名前が表示されない場合、Today ではメインビューの現在の行動カードおよび予定カードに「招待者 1 人」というカウントが表示され、行動を開いても招待者は表示されません。
- iCloud API はメールアドレスを返さないため、Today は iCloud 行動のミーティング主催者に対して一致する Salesforce レコードを検出できません。
- Today では、モバイルデバイスのタイムゾーン設定が使用されますが、Salesforce の行動では、ユーザの Salesforce のタイムゾーン設定が使用されます。ユーザが Today からローカルの行動を記録するときにこれらの設定が異なると、新しい Salesforce の行動レコードの Time 項目は、ユーザの Salesforce のタイムゾーンを反映するため、ローカルの行動の時間と一致しなくなります。
- Android デバイスでは、ミーティング主催者の一致する Salesforce レコードがない場合、その主催者の名前が正しく表示されないことがあります。
- Android デバイスの Today でレコードを表示しているときに別のユーザがモバイルカレンダーの行動レコードを更新した場合でも、その変更は自動的に表示されません。レコードは、次に Today メインビューから選択したときに更新されます。
- Android OS によるローカルの行動の識別方法が原因で、ユーザが Android デバイスで Today にアクセスしてローカルの行動を Salesforce に記録し、別の Android デバイスまたは iOS デバイスの Today で同じ行動を表示すると、行動が記録されていないように見え、Today から対応する Salesforce の行動にアクセスできない場合があります。ただし、元の Android デバイスでは、記録された行動の状況およびリンクは正常になっています。
- Android 4.4 を実行しているデバイスでは、位置情報へのアクセスが無効になっていても、常に天気情報が Today に表示されます。これは Android 4.4 の問題であるため、Today で制御することはできません。
- Chatter Free および Chatter External ユーザライセンスには取引先責任者または個人取引先へのアクセス権がないため、それらのユーザは Today にアクセスできません。

Salesforce1 での活動: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

行動

- アーカイブ済み行動は使用できません。
- Shared Activities を使用して複数のオブジェクトを行動に関連付けることはできません。
- 行動は Microsoft® Outlook® に追加できません。
- 招待者を行動に追加したり、招待者を行動から削除したりできません。
- 招待された行動を受諾または却下することはできません。
- 行動の詳細ページまたは編集ページには [繰り返し] および [アラーム] セクションは表示されません。

- 行動では、モバイルデバイスのタイムゾーン設定ではなく、Salesforceのタイムゾーン設定が考慮されます。
- Salesforce の行動を Salesforce1 ナビゲーションメニューの [行動] 項目から表示すると、デバイスや Salesforce ロケール設定に関係なく、日付バーは常に日曜日で始まり土曜日で終わります。
- 午後 11 時 59 分にその日の 1 日の行動リストを表示しても、リストは午前 0 時に自動的に翌日に更新されません。
- [招待者] 関連リストの表示が Salesforce フルサイトのコンテンツとは少し異なります。フルサイトでは、[招待者] リストに行動所有者および招待者が含まれています。Salesforce1 では、[招待者] 関連リストには招待者のみが含まれています。次のクエリを使用して、Salesforce1 のフルサイトの機能を複製できます。

組織で Shared Activities を使用している場合、行動主催者がすべての招待者を参照できるようにするには、次のクエリを使用します。

```
SELECT RelationId FROM EventRelation WHERE isInvitee = true AND eventId='[Event_Id]'
```


ここで、*Event_Id* は下位行動の ID です。

組織で Shared Activities を使用していない場合、行動主催者がすべての招待者を参照できるようにするには、次のクエリを使用します。

```
SELECT RelationId FROM EventRelation WHERE eventId='[Event_Id]'
```

これらのクエリでは主要な行動のリレーションを取得し、特定の低位行動でのそれらのリレーションを表示します。WHERE 句を追加して、結果をさらに絞り込むことができます。

ToDo

- アーカイブ済み ToDo は使用できません。
- Shared Activities を使用して複数の取引先責任者を ToDo に関連付けることはできません。
- グループ (マルチユーザ) ToDo は使用できません。
- ToDo の詳細ページまたは編集ページには [繰り返し] および [アラーム] セクションは表示されません。
- アイコンをタップして ToDo を閉じると、リストが更新されるまで ToDo はチェックマークが付いた状態で表示されます。
- ToDo リストでは、優先度の高い ToDo の並び替えは、優先度選択リストの項目の順序で決まります。
- ToDo が多いほど、また、ToDo が持つ他のレコードへのリレーションが多いほど、Salesforce1 アプリケーションで ToDo を表示したり、その他の機能を使用したりするのにより時間がかかる可能性があります。
- 1,000 件を超える期限切れの ToDo が存在する場合は、Salesforce1 の ToDo リストに期限切れの ToDo が一切表示されません。フルサイトを使用して期限切れの ToDo を表示して閉じるか、ToDo を延期するか、期日を削除します。
- ToDo レイアウトには、ToDo の操作をより簡単にする独自の要素がいくつかあります。これらの要素はユーザが変更できないためコンパクトレイアウトには表示されませんが、次の要素は常に確認できます。
 - アイコンおよび アイコンでは、ToDo の編集権限のあるユーザに IsClosed 項目の状況を表します。
 -  アイコンは、優先度高 (カスタムの優先度高を含む) とマークされている ToDo を表します。
 - すべての ToDo の件名が表示されます。
 - すべての ToDo の期日 (存在しており、ユーザに参照権限がある場合) が表示されます。

- ToDoには主取引先責任者および取引先、またはその他のレコード(それらが存在する場合)が含まれています。

組織の設定に応じて、各リストの項目が異なる場合があります。

ToDo レコードのレイアウトおよび ToDo リストの ToDo はコンパクトレイアウトを使用して制御します。関連リストは、通常どおりページレイアウトエディタを使用して制御します。件名項目または期日項目のどちらをレイアウトに追加しても、ToDo の表示は変更されません。これらの項目は 2 回表示されることはありません。

Salesforce1 では、ToDo の組み込み要素の下に最大 3 つの追加項目が表示されます。

- ToDo のデフォルトのコンパクトレイアウトでは、リードまたは取引先責任者の名前と、商談、取引先、または ToDo が関連付けられているその他のレコードという 2 つの項目が含まれます。
- [活動] 関連リストでは、ToDo の項目は表示しているレコードタイプ、およびそのオブジェクトのレイアウトの定義方法に応じて異なります。

詳細は、「Compact Layouts」を参照してください。

Salesforce1 での Work.com: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

Salesforce1 で Work.com 機能を使用する場合、次を行うことはできません。

- 目標および総計値の共有
- レポートへの総計値のリンク
- レポートにリンクされている総計値の更新
- 親目標とサブ目標のリンク
- 目標画像の追加
- カスタムバッジの作成
- フィードバックの提供または要求
- カスタム総計値項目の表示
- パフォーマンスサマリーの作成、入力、または破棄
- パフォーマンスサマリーサイクルの管理

Salesforce1 での Salesforce1 レポート: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

- ダッシュボードは参照のみです。
- レポートグラフは使用できません。
- Salesforce フルサイトの場合と同様に、レポートでは、最大 2,000 行を表示します。
- ダッシュボードの Chatter フィードを Salesforce フルサイトでは使用できますが、Salesforce1 では使用できません。
- グループिंगがあるレポートを参照する場合、レポートの最後にグループングが列として表示されます。
- Salesforce1 ではサマリーレポート、マトリックスレポート、および表形式レポートを使用できますが、マトリックスレポートとサマリーレポートは表形式で表示されます。結合レポートは使用できません。
- 16 個を超える集計項目を含むレポートを Salesforce1 に表示すると、エラーメッセージが表示されます。

- 条件付き強調表示が示されているレポートは、Salesforce1 に表示できません。
 - 3 個を超えるチェックボックス項目を含むレポートにはドリルインできません。
 - ダッシュボードのすべてのレポートを再実行できますが、時間がかかることがあるため、ダッシュボードをすばやく更新して最終実行のデータを表示することもできます。
 - Salesforce フルサイトと同様に、Salesforce1 ではロール階層内のユーザとしてのみダッシュボードを実行できます。ただし、Salesforce1 では、組織内のすべてのユーザから選択できます。ロール階層外のユーザを選択すると、エラーが表示されます。
 - 場合によっては、ダッシュボードコンポーネントに表示されたデータが、同じページに表示されるレポートのデータと同期されない可能性があります。ダッシュボードコンポーネントのデータがレポートに一致しない場合、次のいずれかの問題が発生しています。
 - ダッシュボードは設定されたユーザまたは実行中のユーザとして更新されているが、レポートが常に現在のユーザとして実行されている。
 - レポートがダッシュボードの更新の後に更新された。レポートは参照するたびに更新されますが (オフラインでない場合)、ダッシュボードコンポーネントはそのコンポーネントが属するダッシュボードが更新されたときにのみ更新されます。
- 同じ一時的な不一致がフルサイトで発生する可能性がありますが、フルサイトではレポートとダッシュボードグラフが別のページに表示されます。Salesforce1 では、レポートとダッシュボードグラフが同じページに表示されます。
- Salesforce1 では、動的パラメータ値を使用する URL を介してレポートを表示できません。パラメータをレポートに渡すように URL を変更すると、Salesforce1 に空白画面 (返される結果がないレポートレコード) が表示されます。

Salesforce1 での Chatter: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

Salesforce1 モバイルアプリケーションで Chatter を使用する場合、次を行うことはできません。

フィード

- Chatter メッセージを送信または表示する。
- Chatter 活動統計または Chatter 影響度状況を表示する。
- 公開投稿を共有する。
- Chatter のお気に入りを追加または表示する。
- レコードを絞り込む。
- ユーザプロフィールおよびレコードのフィードで検索する。
- 同僚を Chatter へのサインアップに招待する。
- 文字の組み合わせを使用して顔文字を投稿に追加する。
- フィード投稿またはコメントを編集する (ただし、フルサイトで編集したフィード項目は表示可能)。

トピック (Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションのみ)

- トピックのトレンドを表示する。
- トピックの詳細 (名前や説明) を編集する。
- お気に入りのトピックにタグを付ける。

- タグ付けされたトピックの広範なリストをまとめて表示する — すべてのトピックを表示するには、[さらに表示] をタップします。
- トピックをレコードに割り当てる。
- トピックに割り当てられたレコードを表示する。
- [関連トピック]、[関連グループ]、[トピックに関する知識がある]、[最近のファイル] 関連リストを表示する。
- 検索時にオートコンプリートオプションでトピックを表示する。
- トピックを削除する。

人とプロフィール

- iOS デバイス用の Salesforce1 ダウンロード可能アプリケーションでプロフィール情報を編集する。
- Good Access™ セキュアモバイルブラウザを使用してプロフィール写真をアップロードする。
- カスタムプロフィールを使用する。

グループ

- 顧客を非公開顧客グループに招待する。
- [レコードの追加] パブリッシャーアクションを使用して、顧客を含む Chatter グループにレコードを追加する。
- 非公開グループへの参加要求を取り下げる。
- 次のグループ所有者およびマネージャアクションを実行する。
 - グループファイルリストからファイルを削除する。
 - Salesforce1 ダウンロード可能アプリケーションからグループ写真をアップロードする。

Chatter Messenger

- 他のユーザとチャットする。
- チャット履歴を表示する。

ファイル

- 次の種類以外のファイルを表示する。 .doc、.docx、.pdf、.ppt、.pptx、.xls、.xlsx、および .gif、.jpg、.png 形式を含むすべての画像ファイル。
- 大規模ポータルユーザの場合、Salesforce1 ナビゲーションメニューから Files にアクセスする。
- Good Access セキュアモバイルブラウザを使用してファイルをアップロードする。

Salesforce1 での Chatter の質問: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

- 質問のアクションドロップダウンメニューにアクセスするには、質問をタップします。
- 質問をするときに類似する質問およびナレッジ記事は表示されません。
- 最良の回答は選択できません。

Salesforce1 での Salesforce Communities: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

Salesforce1 の Salesforce Communities はフルサイトと似ていますが、次のような違いがあります。

- コミュニティの Salesforce1 ナビゲーションメニューは、内部組織のナビゲーションメニューと次の点が異なります。
 - ナビゲーションメニューに、システム管理者がコミュニティの管理設定の [タブ & ページ] を使用してコミュニティに追加したタブのみが表示されます。
 - Salesforce1 では、Chatter タブが 3 つのメニューオプションに分かれています。コミュニティに Chatter タブが含まれている場合、[フィード]、[人]、および [グループ] のナビゲーションメニュー項目が表示されません。
 - 行動および Today の項目がコミュニティでサポートされず、ナビゲーションメニューに表示されません。
 - ToDo は「ToDo の編集」権限を持つユーザのみが使用できます。
- [すべての会社] フィードはありません。
- Site.com のブランド設定はサポートされていません。
- Salesforce1 では、[コミュニティ管理] ページを使用できません。
- コミュニティメンバーは、非公開メッセージに不正フラグを設定できません。
- Salesforce1 では、評価はサポートされていません。ただし、フルサイトで評価が有効化および設定されている場合は、ユーザが Salesforce1 を使用しているときにポイントを獲得できます。たとえば、コミュニティマネージャがフルサイトでポイントシステムを設定し、投稿の作成および投稿へのコメントにポイント値を割り当てた場合、コミュニティのユーザは Salesforce1 で投稿およびコメントを行うたびにポイントを獲得します。ただし、ポイントはフルサイトでのみ表示できます。
- 検索はコミュニティの範囲で行われ、現在のコミュニティの項目のみが返されます。レコードは各コミュニティで共有されるため、これだけは例外となります。
- ロールベースの外部ユーザはレコードの [承認履歴] 関連リストから承認申請を承認または却下できますが、承認申請は送信できません。
- ユーザの通知リストには、ユーザがメンバーとなっているすべてのコミュニティの通知が含まれます。通知元のコミュニティの名前がタイムスタンプの後に表示されます。
- 外部ユーザがコミュニティにアクセスしてもヘルプリンクは表示されません。
- Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションの外部ユーザの写真には、ユーザが外部ユーザであることを示すビジュアル表示は含まれません。Salesforce フルサイトと Salesforce1 ダウンロード可能アプリケーションでは、外部ユーザの写真の左上隅はオレンジ色で表示されます。
- コミュニティテンプレートとユーザライセンスによって、Salesforce1 を使用したコミュニティへのアクセス方法が決まります。詳細は、Salesforce ヘルプの「[Access to Communities Using Salesforce1](#)」(Salesforce1 を使用したコミュニティへのアクセス) を参照してください。

Salesforce1 での承認: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

次の承認関連のオプションは Salesforce1 モバイルアプリケーションでは使用できません。

- 承認申請の取り消し
- 承認申請の再割り当て
- 次の承認者の手動での選択。この手動での選択を必要とする承認申請では、承認者は Salesforce フルサイトにログインする必要があります。

その他に、次の操作を実行できます。

- [承認履歴] 関連リストにコメントは表示されません。
- Salesforce1 での承認申請通知は、キューには送信されません。個人ユーザがモバイルアプリケーションで承認申請通知を受信できるように、キューを伴う各承認ステップで、割り当てられた承認者としてそれらの個人ユーザを追加することをお勧めします。割り当てられた承認者としてキューと個人ユーザの両方を設定するには、承認ステップで [自動的にキューに割り当てる] の代わりに [自動的に承認者に割り当てる] を選択します。
- 承認申請の Salesforce1 通知は、承認対象のレコードへのアクセス権を持つユーザのみに送信されます。レコードアクセス権のない割り当て先にも承認通知メールが引き続き送信される場合がありますが、他のユーザによってレコードアクセス権が付与されるまで、承認申請を完了することはできません。
- コミュニティでの承認を操作する場合、ロールベースの外部ユーザが [承認履歴] 関連リストを参照してそこからアクションを実行できますが、承認申請は送信できません。

Salesforce1 通知: 制限

- アプリケーションの通知リストには、過去 90 日以内で受信した最新の 20 個の通知が表示されます。
- 適切な認証のないサードパーティサービスを通じて機密情報が配信されないようにするため、転送通知にはデフォルトで最小限のコンテンツのみが含まれます。完全なコンテンツ (投稿、コメント、Chatter グループの名前、ToDo の説明など) を転送通知に含めるには、フルサイトの [設定] から、[クイック検索] ボックスに「Salesforce1 通知」と入力し、[Salesforce1 通知] を選択します。次に、[転送通知で完全なコンテンツを有効化] を選択し、会社に代わって契約条件に同意します。
- Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションはストリーミング API を使用します。モバイルブラウザアプリケーションのアプリケーション内通知には、[ストリーミング API の制限](#)が適用されます。
- Salesforce では、承認を受けるためにレコードを送信するときにコメントを追加できます。これらのコメントは、Salesforce の承認プロセスステップの詳細ページに含まれます。Salesforce1 では、承認の詳細を確認するときにコメントを表示できません。

Salesforce1 での Salesforce のカスタマイズ: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

カスタムホームページ

- Salesforce1 では、Salesforce フルサイトが実行するような、Salesforce アプリケーションまたはカスタムホームページへのログイン時のリダイレクトをサポートしていません。モバイルブラウザから Salesforce にログインするユーザがこのリダイレクト機能を引き続き利用する場合は、Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションをオフにしてください。この操作は、ユーザごとまたは組織全体に対して実行できます。

カスタムアクションおよびボタン

- ページレイアウトの [ボタン] セクションに追加されたカスタムボタン、および Visualforce をコンテンツソースとして使用するカスタムボタンは、Salesforce1 でサポートされています。Salesforce1 で Visualforce ページが有効になっている必要があります。

カスタムリンク、リストビューに追加されたカスタムボタン、および URL または `onClick JavaScript` をコンテンツソースとして定義するカスタムボタンは、Salesforce1 で使用できません。

- アクションアイコンに使用するカスタムイメージのサイズは、1 MB 未満にする必要があります。

Visualforce ページ

- Visualforce ページによって上書きされた標準タブ、カスタムオブジェクトタブ、およびリストビューは、Salesforce1 ではサポートされません。Visualforce ページはフルサイトのユーザに表示されますが、Salesforce1 ユーザには、代わりにオブジェクトのデフォルトの Salesforce1 ページが表示されます。この制限は、オブジェクトに対する Salesforce1 の操作性を維持するために設定されています。
- <apex:enhancedList> コンポーネントを含む、埋め込みの Visualforce ページ (ページレイアウトに追加されたページ) では、iOS デバイスで Salesforce1 アプリケーションを使用している場合、アプリケーションがクラッシュする可能性があります。
- Android デバイスで Visualforce ページを表示する場合、ページが viewport よりも広いと、水平スクロールが機能しません。viewport よりも狭くなるようにページを再設計してください。

Lightning ページ

- Lightning ページには 25 個を超えるコンポーネントを追加できません。

プログラムによるカスタマイズ

- Web タブおよび S コントロールの UI へのプログラムによるカスタマイズはサポートされていません。

Salesforce1 でのセキュリティ: 制限と Salesforce フルサイトとの違い

「暗号化されたデータの参照」権限がないユーザがレコードをコピーすると、マスクされたデータが暗号化項目に表示されます。

Salesforce Classic Mobile アプリケーションの制限

モバイルデバイスの制限

BlackBerry スマートフォン (日本未対応)

- バージョン 4.0 ~ 4.3 の BlackBerry オペレーティングシステムを実行するモバイルユーザは、Salesforce Classic Mobile アプリケーションをダウンロードおよびインストールできますが、モバイルサーバは、古い OS を検出し、バージョン 11.6 の Salesforce Classic Mobile を送信します。このモバイルアプリケーションは、BlackBerry の OS バージョン 4.0 ~ 4.3 をサポートしていた最新のリリースです。バージョン 11.6 の Salesforce Classic Mobile のユーザは、現在のリリース以降に含まれる新しい機能を使用することはできません。
- BlackBerry タッチスクリーンデバイスでは、その他の BlackBerry デバイスと同じ Salesforce Classic Mobile アプリケーションを使用しています。そのため、Salesforce Classic Mobile の機能には、タッチスクリーンインターフェース用に最適化されていないものがあります。

Apple iPhone および iPod Touch デバイス

- 第三者 (Apple Inc. およびお客様のネットワーク接続プロバイダなどに限らず) は、お客様に第三者または Salesforce からの返金、控除、その他の補償の権利を与えることなく、いかなる時でも、iPhone および iPod touch デバイスでの Salesforce Classic Mobile の使用の制限、中断または停止、iPhone および iPod touch デバイスからの Salesforce Classic Mobile アプリケーションの削除、または、Salesforce に対する上記のいずれかの実行の要求を行うことができます。
- サービスレベル規約は、Salesforce Classic Mobile for iPhone 製品には適用されません。その他の制限事項については、「Salesforce Classic Mobile for iPhone 注文書補足条項」に記載されています。ユーザは Salesforce Classic Mobile for iPhone 製品をダウンロードまたはインストールする際に、これに同意していただく必要があります。

ダッシュボードの制限

Salesforce Classic Mobile でダッシュボードを使用する場合は、次の制限があります。

- ダッシュボードの作成または編集はできません。
- カスタムレポートの詳細へのリンクは、無効になります。
- モバイルダッシュボードを使用するには、4.5 以上の BlackBerry オペレーティングシステムが必要です。モバイルダッシュボードには、バージョン 4.2 および 4.3 との互換性がありますが、ダッシュボードの表が適切に表示されない場合があります。BlackBerry スマートフォンにインストールされているオペレーティングシステムを確認するには、BlackBerry ホーム画面に移動し、[オプション]>[バージョン情報] を選択してください。

プラットフォームの制限

このセクションの内容:

[API の使用制限](#)

[レポートおよびダッシュボード REST API の制限](#)

[Visualforce コンポーネントの制限](#)

API の使用制限

最適なパフォーマンスを維持し、すべてのお客様がForce.com APIを使用できるようにするために、Salesforceは次の2つ種類の制限を設けることによって、トランザクションの負荷を調整しています。

- **同時 API 要求数の制限**
- **API 要求数の合計に対する制限**

コールが要求制限を超えると、エラーが返されます。

これらの制限は、API コールに関連付けられていない Salesforce API の機能の制限には適用されません。たとえば、BulkAPIのバッチ制限は独自の制限で制御され、API の使用制限としては監視されません。

- 📌 **メモ:** Chatter REST API には、他の Salesforce API とは異なる制限があります。「[Chatter REST API アーキテクチャ](#)」を参照してください。

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic

使用可能なエディション:
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、
Developer Edition、および
Database.com Edition

同時 API 要求数の制限





次の表は、20 秒以上の同時着信要求 (コール) 数について、さまざまな種類の組織に対する制限を示しています。

組織種別	制限
Developer Edition	5
トライアルの組織	5
本番組織	25
Sandbox	25

API 要求数の合計に対する制限

次の表は、組織の 24 時間あたりの API 要求 (コール) 数の合計に関する制限について示しています。


Salesforce のエディション	ライセンスの種類ごとの API コール数	最小	最大
すべてのエディション:指定なし の Apex 用の API テストコールに対する DebuggingHeader。API バージョン 20 以降で有効。	なし	1,000	1,000
Developer Edition	なし	15,000	15,000
<ul style="list-style-type: none"> • Enterprise Edition • Professional Edition (API アクセス有効) 	<ul style="list-style-type: none"> • Salesforce: 1,000 • Force.com Light App: 200 • Force.com Enterprise App: 200 	15,000	1,000,000

Salesforce のエディション	ライセンスの種類ごとの API コール数	最小	最大
	<ul style="list-style-type: none"> Salesforce プラットフォーム: 1,000 Force.com - One App: 200 <p> メモ: 新規ユーザは、このライセンスを使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> パートナーコミュニティ: 200 Gold Partner: 200 <p> メモ: 新規ユーザは、このライセンスを使用できません。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> Unlimited Edition Performance Edition 	<ul style="list-style-type: none"> Salesforce: 5,000 Force.com Light App: 200 Force.com Enterprise App: 200 Force.com App Bundle: 1,000 Salesforce プラットフォーム: 5,000 Force.com - One App: 200 <p> メモ: 新規ユーザは、このライセンスを使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> パートナーコミュニティ: 200 Gold Partner: 200 <p> メモ: 新規ユーザは、このライセンスを使用できません。</p>	15,000	制限なし。ただし、高い数値を設定すると、システム負荷などのその他の制限要因によって、24 時間すべてのコール割り当てを使用できなくなる可能性が高まります。
Sandbox	なし	なし	5,000,000

API 要求についての詳細は、[システムの概要] ページの [API 使用状況] ボックスを参照してください。

コール数の制限は、24 時間あたりに組織で行われた API コール数の集計に対して適用されます。この制限は、ユーザごとに適用されるものではありません。組織がこの制限を超過した場合、組織内のすべてのユーザが一時的にブロックされ、追加のコールを行うことができなくなります。直近 24 時間の使用状況が制限値内に収まるまで、コールはブロックされます。

Salesforce アプリケーションでは、システム管理者は [組織情報] ページで過去 24 時間に発行された API 要求数を参照できます。システム管理者は、[レポート] タブに移動し、[管理レポート] フォルダを選択して [過去 7 日間の API 使用状況] レポートをクリックすることによって、過去 7 日間の API の使用状況に関する詳細なレポートも参照できます。

 **メモ:** 制限はすべてのエディションに自動的に適用されます。

API にコールを送信するアクションはすべて、次の場合を除いて使用制限に数えられます。

- アウトバウンドメッセージ
- Apex 呼び出し

API 要求が指定した制限数の割合を超えた場合に、メールで指定ユーザに通知するように組織で設定できます。これを行うには、[設定] から [クイック検索] ボックスに「API 使用状況通知」と入力し、[API 使用状況通知] を選択します。

API 使用制限の計算例

次の例は、API 使用制限の計算について、いくつかのシナリオを通して説明しています。

- Salesforce ライセンスを 15 個割り当てられている Enterprise Edition 組織の場合、要求数の制限は 15,000 件です (15 個のライセンス X 1,000 件のコール)。
- Salesforce ライセンスが 15,000 件割り当てられている Enterprise Edition 組織の場合、要求数の制限は 1,000,000 件です (ライセンスの数 X 1,000 コールが最大値より大きいため、下限の 1,000,000 が使用されます)。
- 水曜日の午前 5 時に 14,500 件のコールが作成され、水曜日の午後 11 時に 499 件のコールが作成された Developer Edition の場合、木曜日の午前 5 時まで正常に作成できるコール数はあと 1 件だけです。
- Gold Partner ライセンスが 60 件割り当てられている Enterprise Edition 組織の場合、要求数の制限は 15,000 件です (ライセンスの数 X 200 コールが最小値の 15,000 より少なくなります)。

API 要求数の合計に対する制限の増加

ユーザライセンスに基づく API 要求数の制限の計算は、ユーザ数に基づいて組織に十分な利用可能数を許可するよう意図されています。制限を引き上げる必要があるものの、ユーザライセンスの追加購入や Performance Edition へのアップグレードを希望しない場合は、API コールを追加購入できます。詳細は、営業担当者にお問い合わせください。

API コールを追加購入する前に、現在の API 使用状況を精査する必要があります。API に対するコールを行うクライアントアプリケーションが、独自のエンタープライズアプリケーションであってもパートナーアプリケーションであっても、これを最適化して、同じ処理を行うのに使用する API コールを減らせる場合があります。パートナー製品をお使いの場合、供給メーカーにご相談のうえ、その製品が API を最適使用していることを確認してください。API の使用効率のよくない製品は、組織に不要なコストを負わせることとなります。

レポートおよびダッシュボード REST API の制限

レポートおよびダッシュボード REST API には次の制限があります。

レポート API の制限

- クロス条件、標準レポート条件、行制限による絞り込みは、データを絞り込む場合には使用できません。
- 履歴トレンドレポートは、マトリックスレポートでのみサポートされています。
- API では、列として選択された 100 個までの項目を含むレポートのみ処理できます。
- 最近参照した 200 個までのレポートのリストが返されます。
- 1 時間あたり 500 回までのレポートの同期実行を組織で要求できます。
- API では、一度に 20 回までのレポートの同期実行の要求をサポートしています。

- 非同期に実行された 2,000 個までのレポートインスタンスのリストが返されます。
- API では、レポートの非同期実行の結果を取得するために、一度に 200 件までの要求をサポートしていません。
- 1 時間あたり 1,200 回までの非同期要求を組織で要求できます。
- レポートの非同期実行の結果は、24 時間以内に使用できます。
- API では、レポートの最初の 2,000 行までが返されます。検索条件を使用して結果を絞り込むことができます。
- レポートの実行時にカスタム項目の検索条件を 20 件まで追加できます。

ダッシュボード API の制限

- 1 時間あたり 200 回までのダッシュボードの更新を組織で要求できます。
- 1 時間あたり最大 5,000 個のダッシュボードの結果を組織で要求できます。

Visualforce コンポーネントの制限

Visualforce では、タグベースのマークアップ言語を使用して、アプリケーションを開発したり、Salesforce のユーザーインターフェースをカスタマイズしたりします。

次の表に、Visualforce のコンポーネントとページの制限を示します。

制限	値
Visualforce ページ名の最大長 (Visualforce ページとして一意に識別される URL のテキスト)	40 文字 ページ名は、40 文字以内にしてください。
Visualforce ページ (ソースコードであり、表示される応答ではありません) のソースコードの最大長	1 MB のテキスト 1 つのページには、最大 1 MB のテキスト、約 1,000,000 文字まで保持できます。
Visualforce コンポーネント (ソースコード) のソースコードの最大長	1 MB のテキスト 1 つのコンポーネントに、最大 1 MB のテキスト、約 1,000,000 文字を入れることができます。
プロファイルタブに表示される Visualforce ページの最大幅	750 ピクセル プロファイルタブに表示される単一ページの幅は、750 ピクセル以下にする必要があります。